

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-8

< 第11週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は過去10年間で最高の値となっている / その他最新動向
< 2月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.9-10

< A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 > 昨年までに比べて非常に報告数が増えている
< 風しん > 本年は昨年と比べて、学童期や20歳以上の年齢からの報告の割合が高くなっている



病原体情報
P.11-12

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス 2003/04シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.13

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話
P.14-19

< ノロウイルス感染症 >
日本では12月から3月をピークにして全国的に流行する、ノロウイルスによる急性胃腸炎である



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(11週)
P.20-26



グラフ総覧(2月)
P.27-31



2月のデータ
P.32-35



11週のデータ
P.36-45



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)

第11週コメント 3月18日集計分

全数報告の感染症

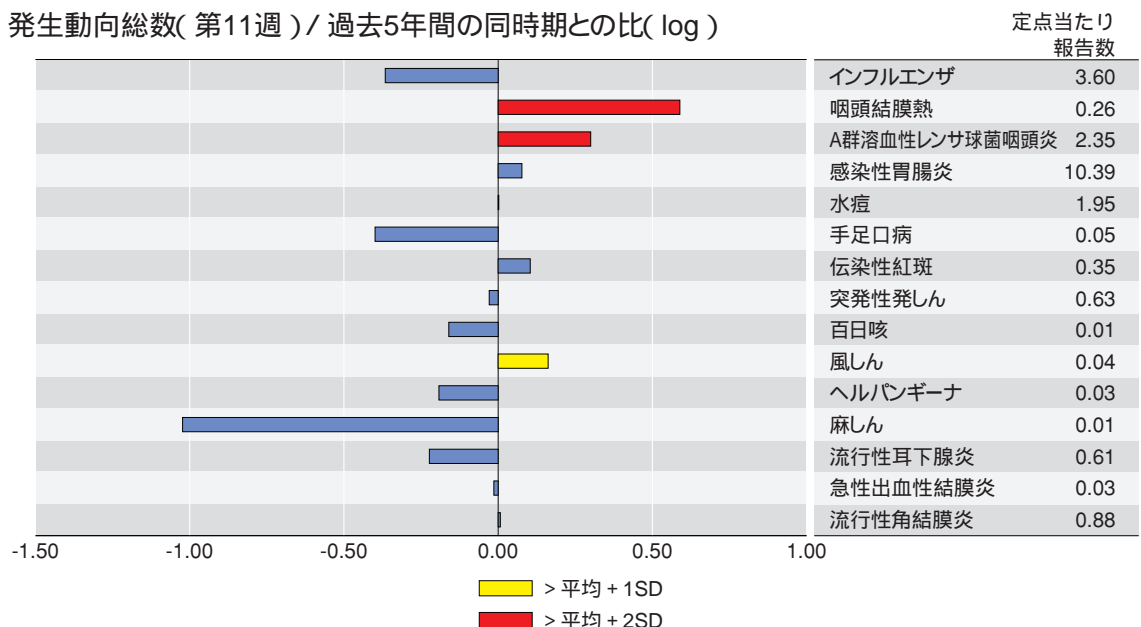
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 8例(推定感染地域: 国内1例、カンボジア2例、インド1例、ネパール1例、エクアドル1例、エクアドル/ペルー1例、不明1例)
腸チフス 1例(推定感染地域: カンボジア)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 9例(うち有症者7例)
血清型・毒素型: O157 VT2(4例)、O157 VT1・VT2(1例)、O26 VT1(1例)、O1 VT1(1例)、その他(2例)
年齢: 10歳未満(4例)、20代(2例)、30代(1例)、40代(2例)
- 4類感染症: つつが虫病 1例(宮崎県)
マラリア 2例(ともに熱帯熱) 推定感染地域: ソロモン諸島1例、アフリカ1例)
A型肝炎 1例(推定感染地域: 国内)
- 5類感染症: アメーバ赤痢 4例(推定感染地域: 国内1例、東南アジア1例、不明2例)
ウイルス性肝炎 2例(ともにB型) 推定感染経路: ともに性的接触)
クロイツフェルト・ヤコブ病 3例(孤発性2例、家族性1例)
後天性免疫不全症候群 13例(無症候6例、AIDS 6例、その他1例)
推定感染経路: 性的接触9例(異性間4例、同性間5例)、不明4例
推定感染地域: 国内11例、不明2例
髄膜炎菌性髄膜炎 2例(ともに0歳) 推定感染地域: ともに国内)
梅毒 4例(早期顕症I期、早期顕症II期、晩期顕症、無症候各1例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(遺伝子型: VanA、菌検出検体: 喀痰、便)
急性脳炎 2例(病原体: ともにインフルエンザA、4歳、67歳)
(補)他にコレラ1例の報告があったが削除予定。また、第9週分の報告遅れとして急性脳炎1例(病原体不明)、第10週分の報告遅れとしてE型肝炎1例の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第11週)/過去5年間の同時期との比(log)



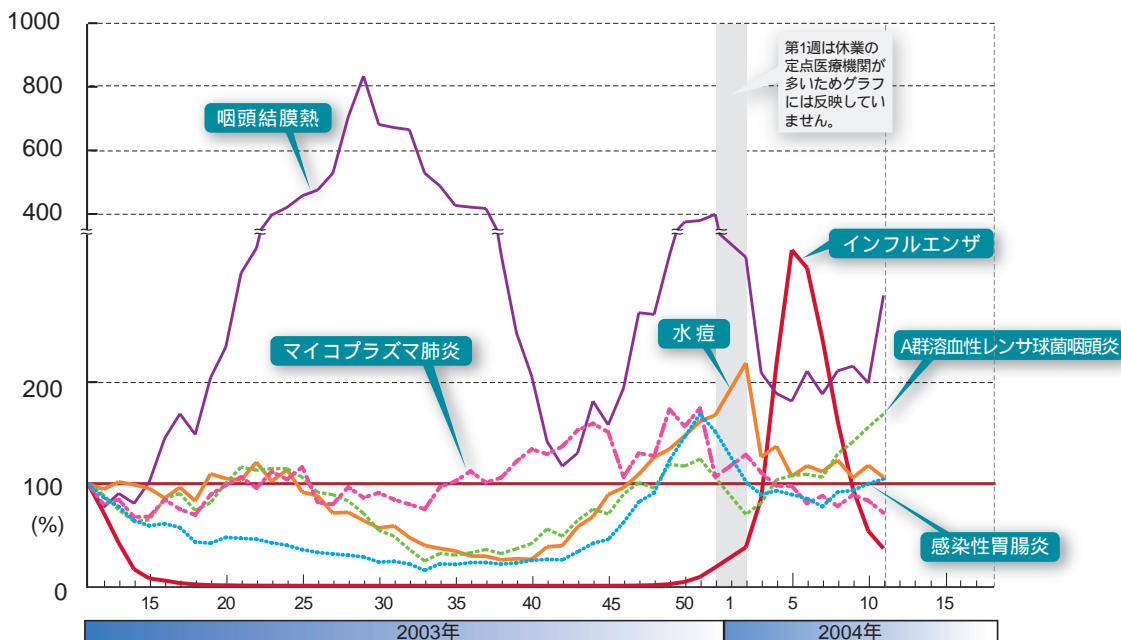
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

インフルエンザ定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第5週をピークに減少し、第11週も減少した。都道府県別では大分県(14.7)、福井県(12.0)、宮崎県(11.7)が多い。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は夏季の流行の後、2003年第43週から再び増加傾向が認められた。その後第52週をピークに減少し、第3週からはほぼ横ばいで推移していたが、第11週は増加した。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では富山県(1.1)、山形県(0.8)、山口県(0.7)、宮崎県(0.7)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2003年第51週をピークに減少したが、第3週から再び増加傾向が認められ、第11週も増加した。過去10年間で最高の値となっており、都道府県別では山形県(9.5)、新潟県(8.7)、富山県(8.0)が多い(「注目すべき感染症」参照)。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第51週をピークに減少傾向が認められていたが、第8週から再び増加し、第11週も増加した。都道府県別では大分県(23.7)、佐賀県(18.4)、福岡県(16.7)、三重県(16.2)が多い。水痘の定点当たり報告数は第2週に過去10年間で最高の値となった後に減少し、第5週からは週により増減はあるがほぼ横ばいで推移している。都道府県別では鹿児島県(3.8)、沖縄県(3.8)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第8週から緩やかに増加しており、第11週も増加した。都道府県別では新潟県(1.2)、福井県(1.1)、山形県(1.0)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週と同値であるが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では鹿児島県(0.4)、群馬県(0.3)、大分県(0.2)が多い(「注目すべき感染症」参照)。RSウイルス感染症の報告数は30都道府県から合計98例であった。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微減して0.16で、都道府県別では宮城県(0.8)、福島県(0.6)、大阪府(0.6)が多い。

主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第11週)



2003年第11週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。

2月コメント

性感染症について(3月12日集計分) 性感染症定点数: 918

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、「尖形コンジローム」の疾患名が「尖圭コンジローマ」に変更になりました。

2004年2月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.16(男1.41、女1.75)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.84(男0.36、女0.49)、尖圭コンジローマが0.52(男0.29、女0.24)、淋菌感染症が1.42(男1.14、女0.28)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べ、男女共に、淋菌感染症、性器クラミジア感染症で減少が続いている(27～30ページグラフ総覧参照)。過去4年間の同時期と比較すると、尖圭コンジローマが男女ともに平均+1標準偏差(SD)を超えて多く、男性の淋菌感染症が平均-1SDを超えて少ない(図2)。

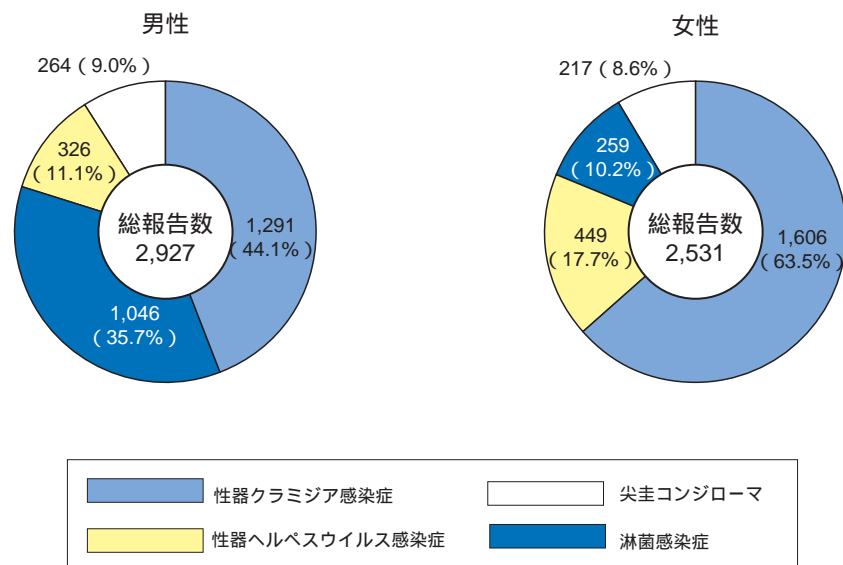
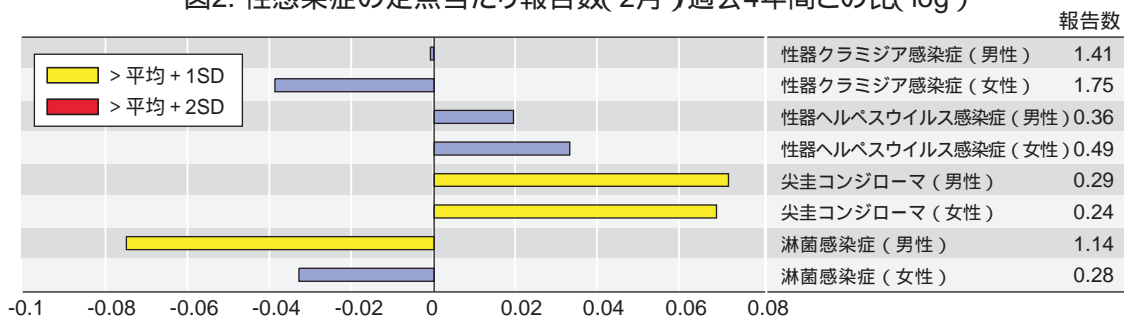


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(2月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(2月)過去4年間との比(log)



当該月と過去4年間の平均(過去4年間の前月、当該月、後月の合計12月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると(図3) いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少ない。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。冬場に見られる減少、あるいは横ばい状態が続いているが、特に女性で全体に減少傾向が目立つ。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報)4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(2月)

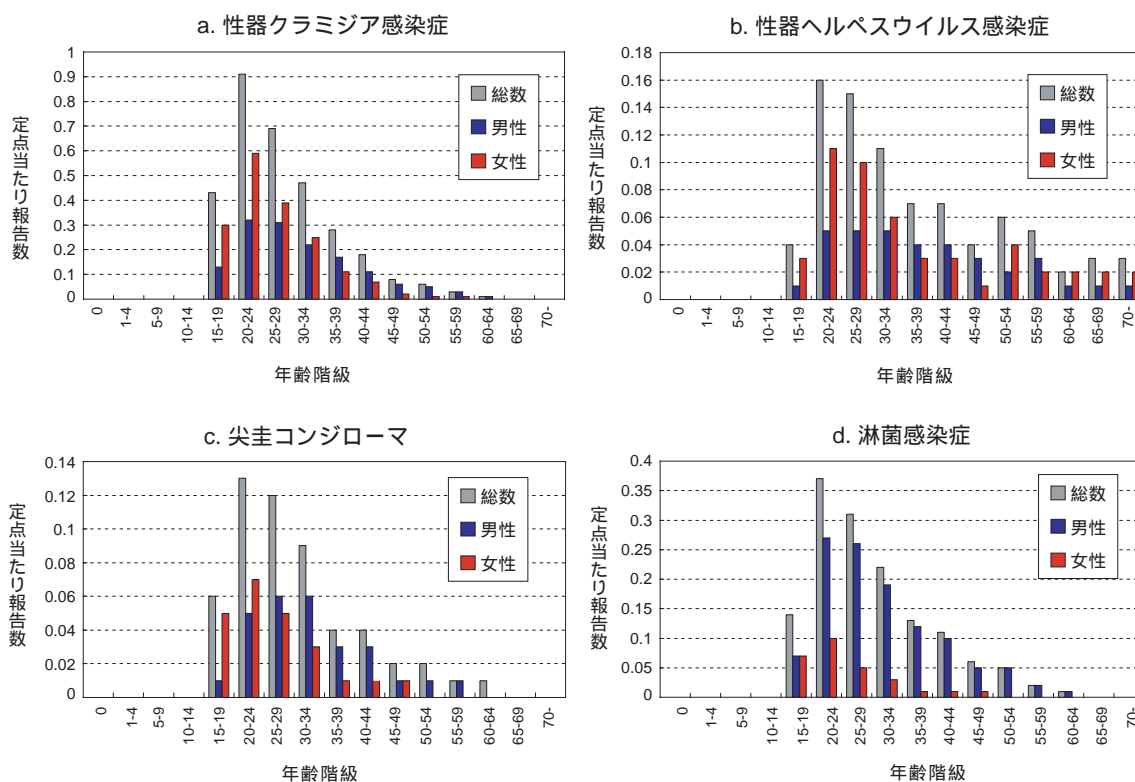
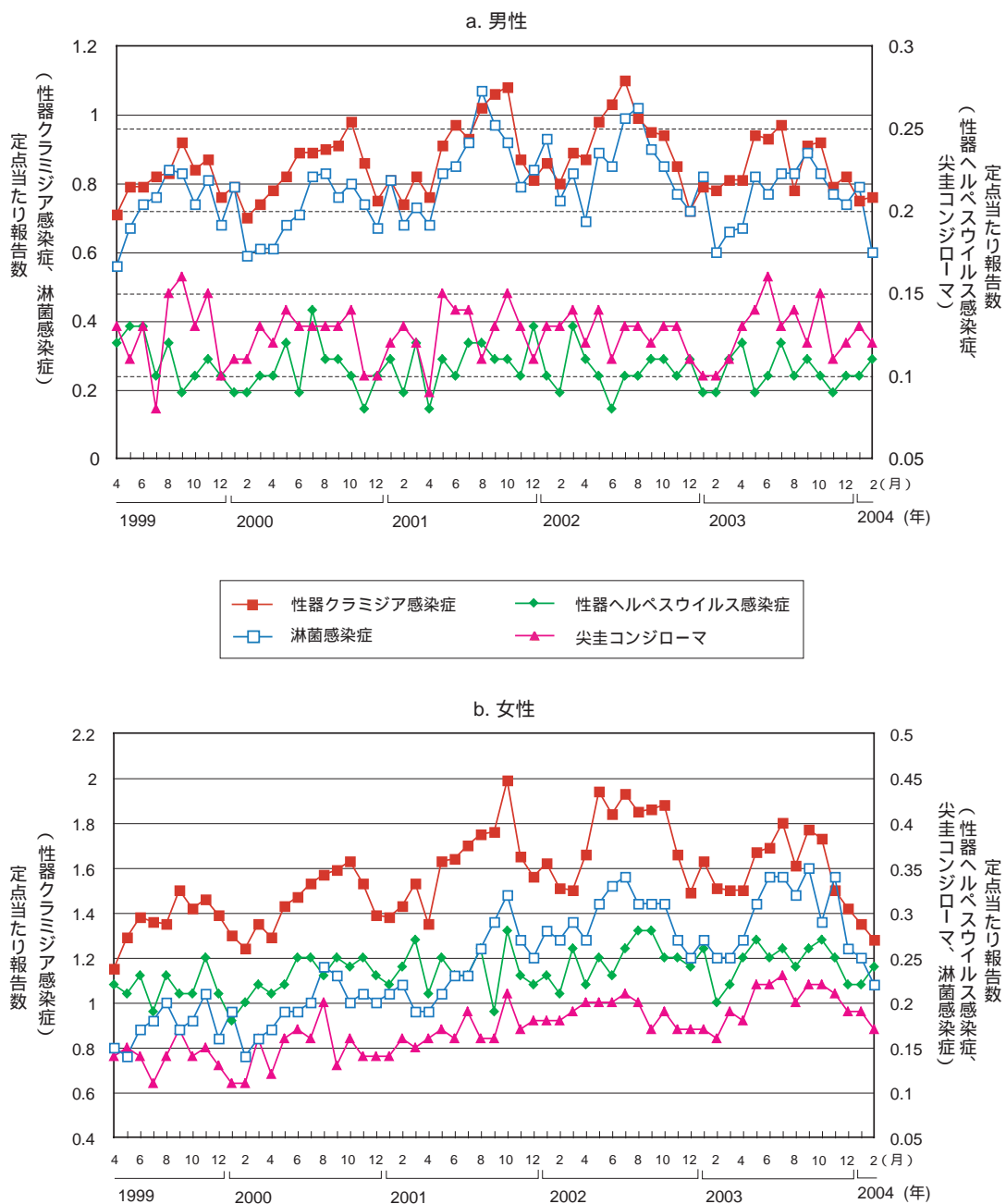


図4.1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15～29歳)



薬剤耐性菌感染症について(3月12日集計分)

2月の定点(基幹定点)総数: 466

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

3.99(前月: 4.00、前年同月: 3.91)

月別には年間を通してほぼ一定であるが、年別には微増傾向が認められており、2月の定点当たり報告数は過去4年間の同月に比して最も多い。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

1.39(前月: 1.20、前年同月: 0.88)

月別には春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に多いが、2月の定点当たり報告数は過去4年間の同月に比して最も多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.08(前月: 0.14、前年同月: 0.09)

月別には年間を通じてほぼ一定であるが、2月の定点当たり報告数は過去4年間の同月に比して最も少ない。

[年齢階級別]

MRSA感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の72%(70歳以上が64%)を占めている(図1)。

PRSP感染症...小児に多く、10歳未満が全体の63%(5歳未満が57%)を占めている。また高齢者にも多く、65歳以上が全体の22%(70歳以上が16%)を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の59%(70歳以上が41%)を占めている(図3)。

[性別] (女性を1として算出した男/女比)

MRSA感染症...1.7/1

PRSP感染症...1.4/1

薬剤耐性緑膿菌感染症...3.3/1

[都道府県別]

MRSA感染症...定点当たり報告数は山口県(13.6)、香川県(10.8)、富山県(9.6)が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県(9.9)、富山県(8.2)、高知県(6.6)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...定点当たり報告数は岩手県(0.6)、宮城県(0.5)が多い。

図1.メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

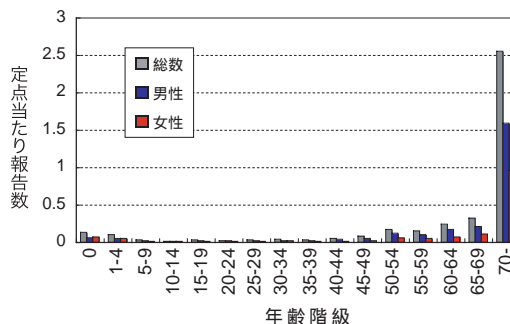


図2.ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

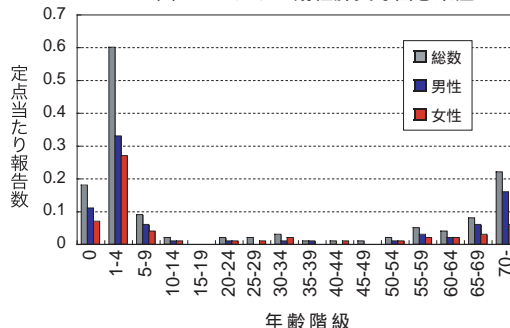
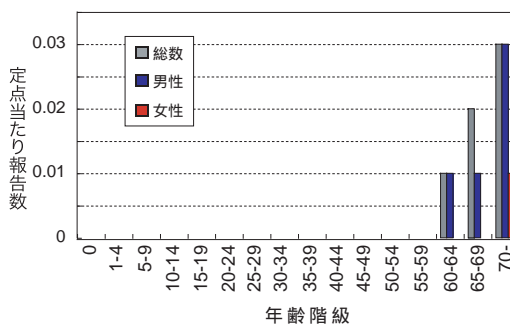


図3.薬剤耐性緑膿菌感染症



結核サーベイランス月報(3月23日集計分)

2月の新登録患者数は2,178人(男性1,424人、女性754人)で、このうち活動性肺結核患者は1,764人(うち喀痰塗抹陽性者は833人)であった。

都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(300人)、大阪府(大阪市を除く)(148人)、大阪市(105人)、埼玉県(さいたま市を除く)(85人)、愛知県(名古屋市を除く)(83人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は388人、非定型抗酸菌陽性者数は235人であった。

*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。

また、9月19日に、2002年の結核発生動向調査年報が出されました。詳しくは、結核研究所ホームページ(<http://www.jata.or.jp>)をご覧ください。



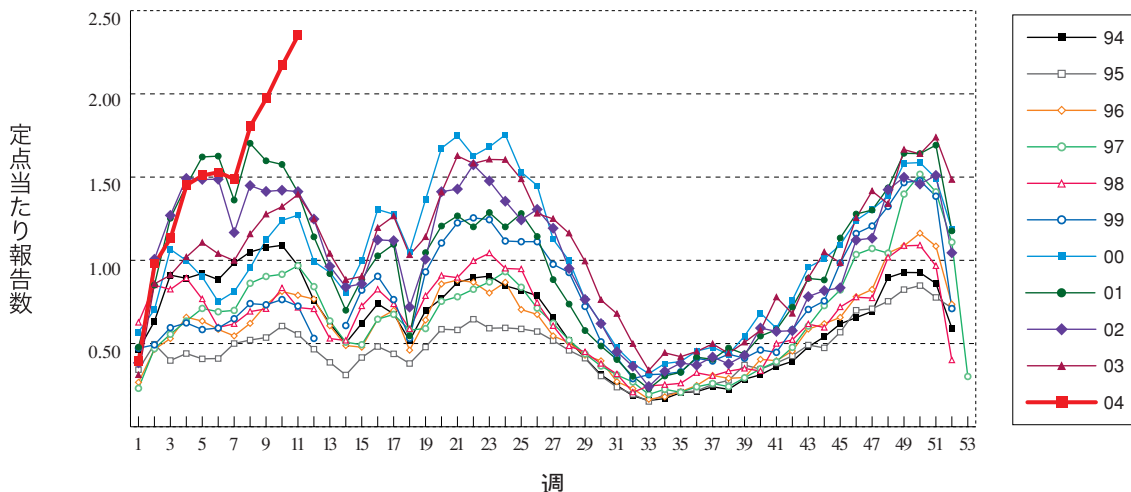
注目すべき感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌による感染症は、菌の侵入部位や組織によって多彩な臨床症状を引き起こす。日常よくみられる疾患として、急性咽頭炎の他、膿痂疹、蜂巣織炎、あるいは特殊な病型として猩紅熱がある。これら以外にも中耳炎、肺炎、化膿性関節炎、骨髓炎、髄膜炎などを起こす。また、菌の直接の作用でなく、免疫学的機序を介して、リウマチ熱や急性糸球体腎炎を起こすことが知られている。

本疾患の報告数は、迅速診断キットの普及などから近年増加していたが、2004年の第9週から昨年までに比べて非常に多くなっている。都道府県別では山形県(9.5)、新潟県(8.7)、富山県(8.0)、鳥取県(5.3)、福井県(5.3)、宮城県(5.3)からの報告が多い。また年齢群別では、5歳を中心に4歳、6歳の報告が多い。

図 . A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別・週別発生状況
1994～2004年

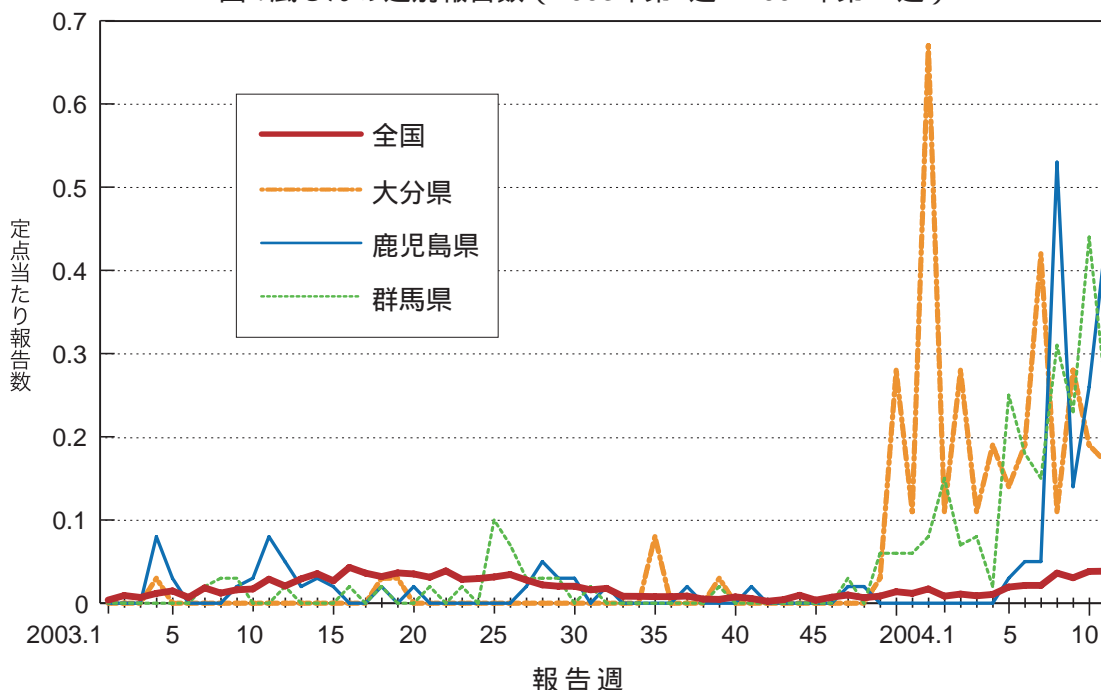


風しん

2003年9月まで風しん予防接種の経過措置のキャンペーンなども行われており、ここ数年、小児科定点から報告される全国の風しん患者数は、以前よりかなり少なくな推移している。しかしながら、本年の定点当たり報告数を都道府県別にみると、鹿児島県、群馬県、大分県など依然として報告数の多い都道府県もあり(図)。そこでは地域的な流行が認められている。また、患者の年齢群を比較してみると、本年は昨年と比べて、学童期や20歳以上の割合が多くなっている。これらの報告は小児科定点からの報告であるので、成人の風しんがより多い可能性もあり、予断を許さない。

風しんはワクチンで予防できる疾患であり、経過措置終了後の現在も、定期接種の対象者だけでなく、当時の経過措置の対象年齢層を中心に、免疫のない人達への任意接種の普及啓発が大切である。また、今年に入ってこれまでに2例の報告があった「先天性風しん症候群」の予防のためには、小児科ばかりでなく、特に妊婦や妊娠年齢の女性の管理を行う産科や婦人科においても、地域での風しんの流行状況などに細心の注意を払って対策を講じる必要がある。

図. 風しんの週別報告数 (2003年第1週～2004年第11週)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年3月19日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2003/04シーズン

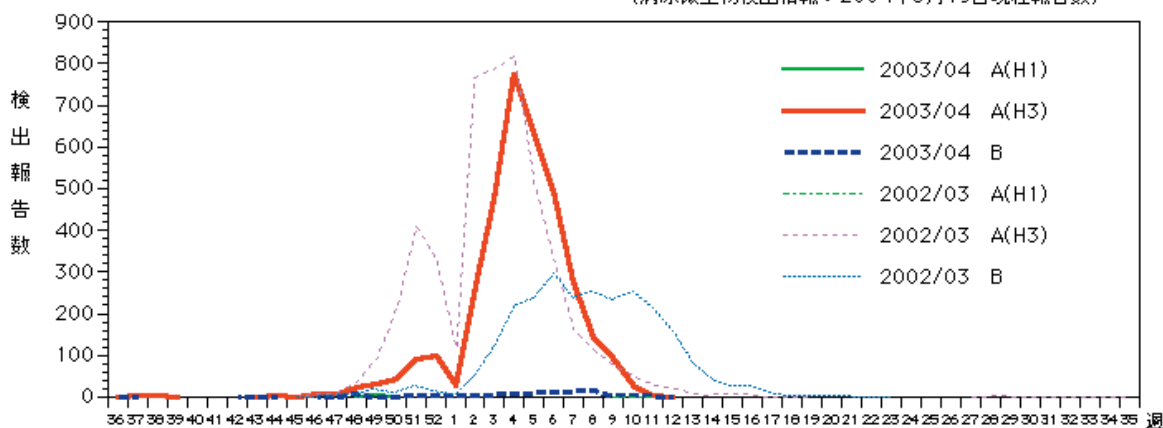
AH3型ウイルスの分離・検出報告がほとんどで、計3,493件(PCRのみの検出31件を含む)が報告されている。このうちN型別された234件はすべてN2であった。今シーズンの増加は昨シーズン(2002/03シーズン)よりやや遅く、第52週まではさほど分離・検出数は多くなかった。しかし年明け以後大きく増加し、昨シーズンと同時期の第4週にピーク(774件)を示している。第5週から第11週までの分離・検出数は634、493、275、144、91、26、5で減少している。これまでに全国43都道府県から分離・検出が報告されている。

B型ウイルスの分離・検出報告は計88件(PCRのみの検出1件を含む)で、新たに秋田県、福島県、岐阜県から各1件の分離報告があり、これまでに全国28道府県から報告されている。第47週以降は少ないながらも毎週分離されており、第5週から第11週までの週別分離・検出数は6、11、13、15、2、5、2である。北海道17、静岡県14、兵庫県7、福岡県7、福井県6などからの報告が多い。

AH1型ウイルスの分離報告は計3件で、第49週に分離された長野県の1件(IDWR2003年第51号速報記事参照)と、埼玉県で分離された2件(第49週、第50週各1)の報告である。埼玉県の2件のうちN型別された1件はN1であった。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2003/04シーズン

(病原微生物検出情報：2004年3月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



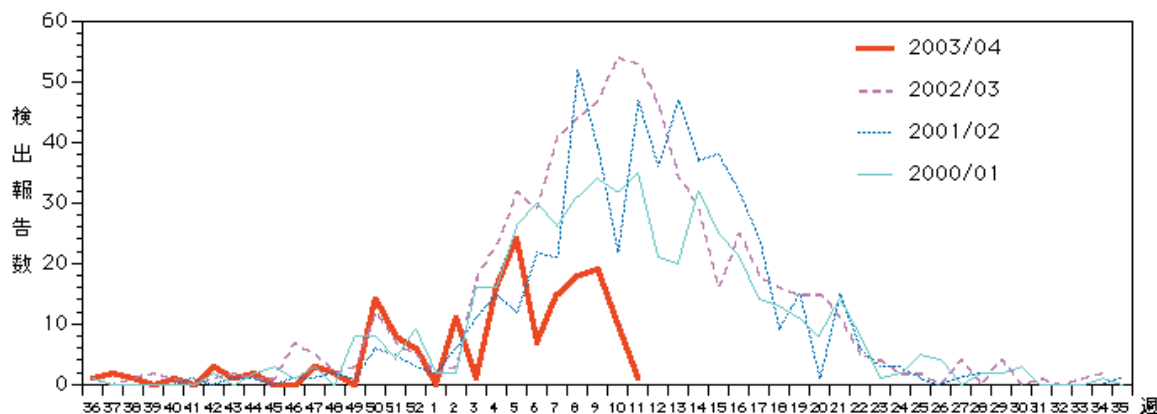
冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン

ロタウイルスは、過去3シーズンとも年明けの第3週頃から大きく増加する推移を示している。今シーズンは、昨シーズン(2002/03シーズン)と同じく第50週に小さなピーク(14件)を形成した後、2004年第4週から大きく増加し始めている。第5週から第11週までの検出数は24、7、15、18、19、10、1である。報告のほとんどはA群で、これまでにA群は22都府県から計164件報告されており、このうち高知県29、香川県26、大阪府20、奈良県14、東京都13、愛媛県10などからの報告が多い。この他に群不明が5件(徳島県2、宮城県、愛媛県、福岡県各1)報告されている。ほとんどが5歳以下の小児からの検出である。

小型球形ウイルス(SRSV)は、報告のほとんどがノロウイルスgenogroup(G)IIである。ノロウイルスGIIは秋田県83、岡山県75、愛媛県63、岩手県62など、これまでに30都府県から計729件報告されている。ノロウイルスGIは11都県から34件の報告で、秋田県11、山口県8からの報告が多い。サポウイルスの報告は27件で、愛媛県の20件中10件は第50週に幼稚園で起きた集団発生事例からの検出である。この他に、ノロウイルスG不明が120件(新潟県32、熊本県24、山形県20、奈良県15、福井県14、東京都8、新潟県4、鳥取県3)、電顕のみによる検出が18件(岡山県13、栃木県5)報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、過去3シーズンとの比較(2000/01～2003/04)

(病原微生物検出情報: 2004年3月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



海外感染症情報

今週はお休みさせていただきます。
海外感染症情報については、
FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)
でご覧いただけます。



感染症の話

ノロウイルス感染症

夏に猛威を振るったサルモネラ、腸炎ビブリオをはじめとする細菌による食中毒が一段落し、秋空が広がる10月に入った頃から新聞紙上を賑わす食中毒がある。代表的なものは生ガキによる集団食中毒である。カキの中腸腺に蓄積されたノロウイルスがヒトの小腸で増殖して引き起こされる急性胃腸炎である。ノロウイルスによる急性胃腸炎は食品によるほか、水を介する場合、さらにヒト-ヒトで伝播し、主に小児で流行する場合もあることが明らかになってきた。

ノロウイルス(Norovirus)は、電子顕微鏡で観察される形態学的分類でSRSV(小型球形ウイルス)と呼ばれたり、ノーウォーク様ウイルス "Norwalk-like viruses" という暫定的な属名で呼ばれてきたウイルスである。2002年の夏、国際ウイルス命名委員会によって、ノロウイルスという正式名称が決定され、世界で統一されて用いられるようになったので、本稿でも以下の文中でノロウイルスを使用する。

疫学

わが国のノロウイルスに関するデータは3つある。(1)食中毒統計(<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/index.html>)は、医師の届出によって保健所が検査し、厚生労働省にウイルス性食中毒として報告され集計されている。我が国における集団食中毒がほぼ捉えられている。平成14年の食中毒発生状況によると、小型球形ウイルスによる食中毒は、事件数では、総事件数1,850件のうち268件(14.5%)、患者数では総患者数27,679名のうち7,961名(28.8%)となっている。病因物質別にみると、サルモネラ属菌(465件)、カンピロバクター・ジェジュニ/コリ(447件)に次いで発生件数が多く、患者数では第1位となっている。表1に平成10年から14年のノロウイルスによる集団食中毒の集計結果を示した(小型球形ウイルスによる食中毒として集計されたデータ)。(2)感染症発生動向調査(週報)の中で冬季の感染性胃腸炎関連ウイルスとして集計されている。感染性胃腸炎は感染症法の5類感染症定点把握疾患で、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関から報告される(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/idwr/idwr-j.html>)。主に散発の感染性胃腸炎患者数を示している。(3)病原微生物検出情報(月報)に、地方衛生研究所で検査され、ノロウイルスであることが確認されたものが集計されている(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)。散発例およびウイルスに起因する集団発生からのノロウイルス検出が捉えられている。これらのデータはいずれの場合も、日本ではノロウイルスが12月から3月をピークにして全国的に流行していることを示している(表2)。

表1.

	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
事件数(件)	123	116	245	269	268
患者数(名)	5,213	5,217	8,080	7,358	7,961

ノロウイルス食中毒の予防に関するQ&A(厚生労働省作成:平成16年2月4日)より転用

表2 . 過去5年間の月別発生件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成10年	47	16	16	2	9	1	1	0	0	3	9	12
平成11年	12	17	12	12	5	3	2	2	0	3	10	38
平成12年	70	45	45	13	4	4	3	0	3	3	10	45
平成13年	87	72	25	9	7	5	2	0	1	5	14	42
平成14年	61	62	37	12	9	11	2	1	1	3	13	56

ノロウイルス食中毒の予防に関するQ&A (厚生労働省作成 : 平成16年2月4日) より転用

病原体

ノロウイルスはサポウイルス(Sapovirus ; 旧名称 sapporo like viruses : SLV) と並ぶカリシ(ラテン語 : コップを意味する) ウイルス科の属名である。ウイルス粒子を電子顕微鏡で見たときに、その表面にコップ状の窪んだ構造が観察されることがカリシウイルス命名の由来となっている。図1にノロウイルスの電子顕微鏡像を示した。直径が38ナノメートルの正二十面体である。プロトタイプは1968年に米国オハイオ州 ノーウォークの小学校で発生した集団胃腸炎から検出され、1972年に免疫電子顕微鏡下でその形態が明らかになった ノーウォークウイルス/68(NV/68) である。以来、形態学的にNV/68と区別できないが抗原的に異なる株は、発見された地名を冠して、たとえばスノーマウンテンウイルス、メキシコウイルス、わが国でも音更(おとふけ) 因子、チバウイルスなどと命名されてきた。ノロウイルスは培養細胞や実験動物への感染がいまだに成功していないウイルスで、ヒトが唯一の感受性動物であるといつてよい。

現在、ノロウイルスに属するウイルスはGenogroup I(GI) とGenogroup II(GII) の2つの遺伝子群に分類され、さらにそれぞれは14と17の遺伝子型(genotype) に分類される。また各遺伝子型に対応した血清型があるらしく、極めて多様性を持った集団として存在する。図2に構造蛋白コード領域の上流部分約250塩基の塩基配列に基づいて作成した系統樹を示した。この領域は後述するノロウイルス検出用RT-PCRプライマーG1SKF & G1SKR, G2SKF & G2SKRによって増幅されるPCR増幅産物のプライマー部分を除いた領域である。GI, GIIに含まれる遺伝子型番号は欧米の研究者らと協議の上、Fields VIROLOGYの第4版に従ってナンバリングした。病原微生物検出情報 vol.24 No.12, p5に掲載済みの系統樹と番号が異なる遺伝子型があるが、今後の混乱を防ぐ意味でも、今後は本報のナンバリングに従っていただきたい。海外の研究者との情報交換もスムーズにいくと思われる。

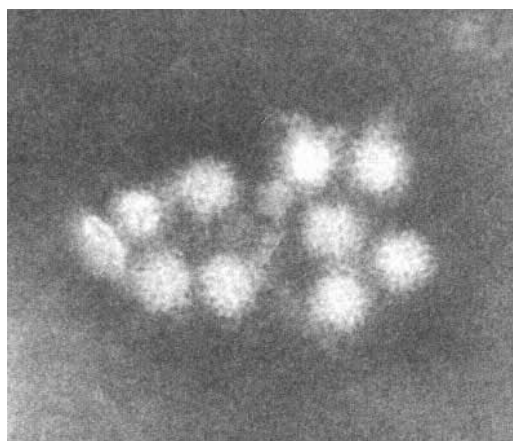


図1 . ノロウイルスの電子顕微鏡像 (埼玉県衛生研究所篠原先生撮影) 直径は約38ナノメートルである。

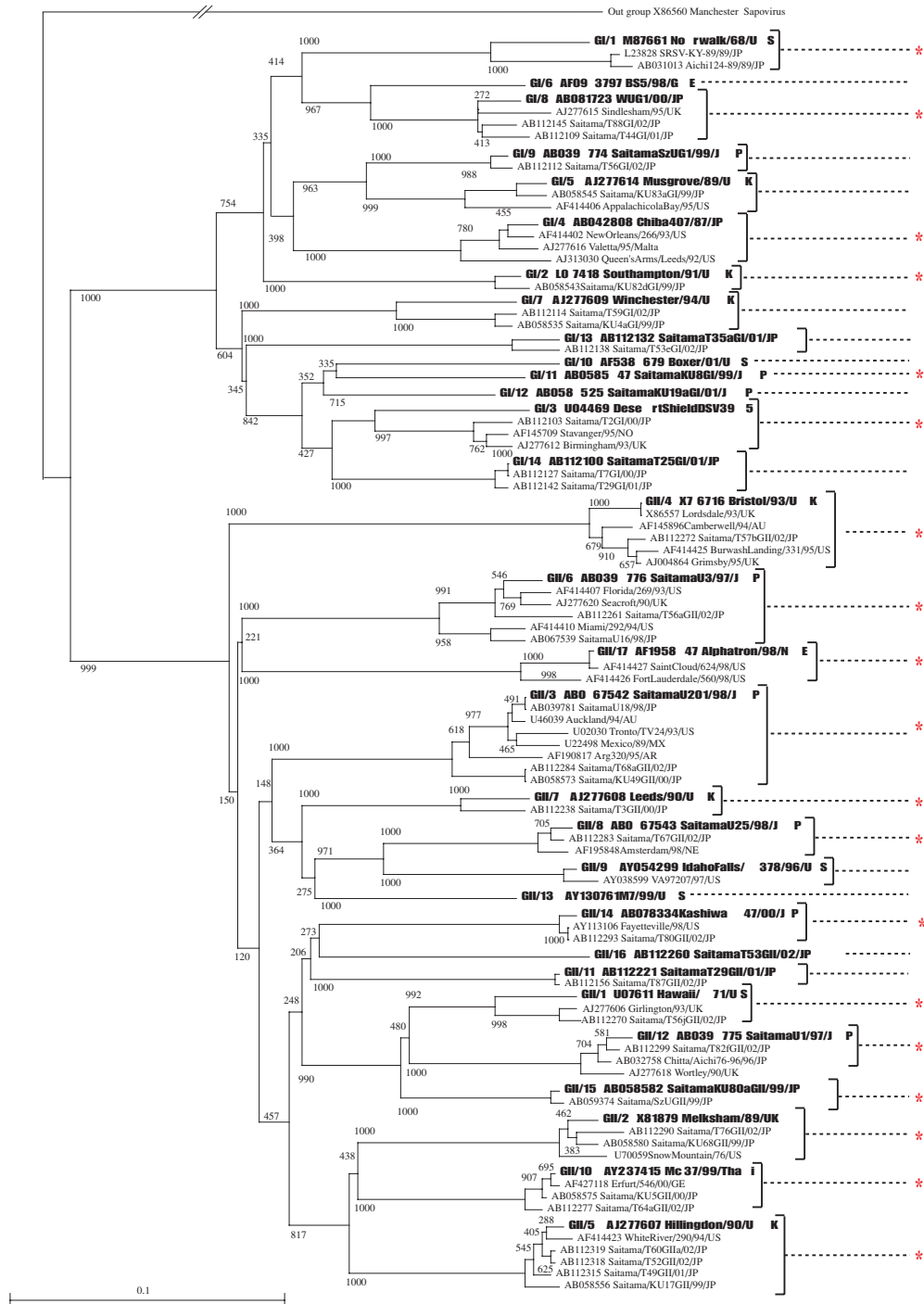


図2. ノロウイルスの構造蛋白全領域に基づく系統樹

RT-PCRプライマーG1SKF & G1SKR, G2SKF & G2SKRによって増幅される領域のうち、プライマーの部分を除いた253塩基をDDBJ (<http://www.ddbj.nig.ac.jp/Welcom-j.html>) のclustalWを用いてアライメントし、Kimura 2-parameterで遺伝学的距離を算出した。分岐点検定のためブートストラップ検定は1000回を行い、950以上を統計学的に有意な分岐とした。系統樹はclustalWの値に基づき、Njplot (<http://pbil.univ-lyon1.fr/software/njplot.html>) で作成した。遺伝子型別はKatayamaら (Viology 299, p225-239, 2002) の方法に基づいて行い、遺伝子型番号についてはFields VIROLOGYの第4版に従った。*印は、VLPと免疫血清を用いたEIAで相互に抗原性が異なることを確認済みの遺伝子型である(国立感染症研究所、名取、未発表)。

臨床症状

ノロウイルスのボランティアへの投与試験の結果から、潜伏期は1～2日であると考えられている。乳児から成人まで幅広く感染するが、一般に症状は軽症であり、治療を必要とせずに軽快する。まれに重症化する例もあり、老人や免疫力の低下した乳児では死亡例も報告されている。嘔気、嘔吐、下痢が主症状であるが、腹痛、頭痛、発熱、悪寒、筋痛、咽頭痛などを伴うこともある。ウイルスは、症状が消失した後も3～7日間ほど患者の便中に排出されるため、2次感染に注意が必要である。ボランティアのバイオプシー由来の腸管組織を病理組織学的に観察した結果から、ノロウイルスはヒトの空腸の上皮細胞に感染して繊毛の委縮と扁平化、さらに剥離と脱落を引き起こして下痢を起こすらしいことが明らかになっている。しかしながら、このような現象がどのようなメカニズムによるものなのか、その詳細はまだ不明である。

病原診断

ノロウイルスの検出はあくまでも電子顕微鏡による観察が基本であるが、対象が患者糞便に限られるのが難点である。現在に至っても、本法がノロウイルス検出の基本であるが、この方法で検出するには 10^6 個/ml以上のウイルス粒子が必要であるので、感度は低い。また、形態学的にノロウイルスが観察できても、ノロウイルスであることを同定できるわけではない。

前述した様にノロウイルスは、培養細胞で再現性良く増殖させることができない。これがネックとなり、ノロウイルスに関する基礎的な研究は遅れていた。しかし、ここ数年で20株を超えるノロウイルスのゲノム全塩基配列が決定され、ウイルスゲノムが詳細に解析されたことにより、新たな診断法が開発された。一つは、ゲノムの中で最も高度に保存された領域を標的としたリアルタイムRT-PCRシステムの構築である。この方法により、ノロウイルスゲノムを超高感度に定量測定することが可能となった。もう一つは、ウイルス様粒子(VLP)を用いた抗原検出システムの構築である。ノロウイルスゲノムの構造蛋白質領域をバキュロウイルスに組み込み、昆虫細胞で発現させると、ウイルス粒子と酷似したVLPを作出できることが明らかにされた。VLPは構造がノロウイルスそのものであり、ウイルス粒子と同等の抗原性を有するが、内部にゲノムRNAを持たず、中空で感染性はない。現在、互いに抗原性の異なると予想されるノロウイルスは30種類以上になろうとしているが、その約60%をカバーするVLPの作出に成功している。これらのVLPをウサギに免疫して得たポリクローナル抗体を用いて構築したEIAキットが、前述の抗原検出システムである。このキットにより、特殊な機器を必要としない迅速かつ簡便な抗原検出が可能となった。しかし、ノロウイルスの新しい遺伝子型が現在もなお発見され続けており、これらに対応するためには、新たなVLPの作出と抗体の作製を継続しなければならない。

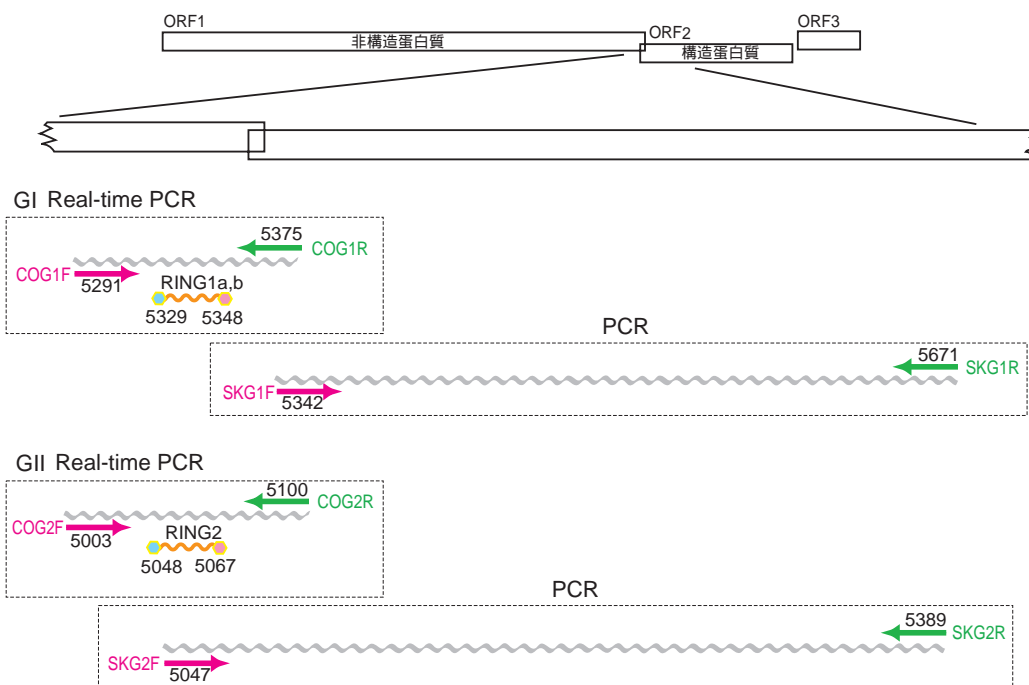


図3. ノロウイルスの遺伝子構造と増幅のためのプライマー

ノロウイルスはORF1-3の三つのオープンリーディングフレームをもつ。RT-PCRによる遺伝子増幅には、ノロウイルスゲノムの中で最も高度に保存されている領域ORF1とORF2の境界付近の超高感度定量検出用(リアルタイムPCR)プライマーセットと、ORF2にコードされる構造蛋白質領域のPCR用プライマーが使用されている。図にはプライマーの5'末端の塩基の位置をGIはNorwalk/68(M87661)、GIIはLordsdale/93/UK(X86557)の塩基番号で示した。

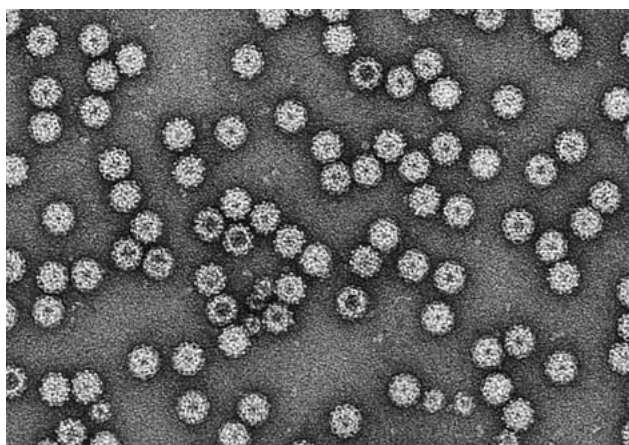


図4. 組換えバキュロウイルスで作製したVLPの電子顕微鏡像

遺伝子が入っていないので中央が黒く見えているものがある。いずれも中空の粒子で、ネイティブなノロウイルスと同じ38ナノメートルの直径を有する。

治療・予防

感染者より排泄された排泄物、もしくは吐物は下水より污水处理場に至る。しかし、ウイルスの一部は浄化処理をかいくり、河川に排出され、海で蠣などの貝類の中で濃縮される。汚染した貝類を生そのまま食すると当然、再びウイルスは人体に戻り、感染を繰り返す。しかし一般に、加熱した食品であればウイルスは完全に失活するので問題はないが、サラダなど加熱調理しないで食する食材が感染源となる。例えば、汚染された貝類を調理した手や、包丁・まな板などから生食用の食材に汚染が広がると考えられている。また最近の報告では、ノロウイルスの感染者を看病したり、患者の吐物、便などから直接感染するヒト-ヒト間の感染があることも明らかにされている。

糞口感染するウイルスであるので、食品衛生上の対策としては、食品の取り扱いに際し入念な手洗いなど衛生管理を徹底すること、食品取扱者には啓発、教育を十分に行う事が大切である。身近な感染防止策として手洗いの励行は重要である。また、吐物など、ウイルスを含む汚染物の処理にも注意が必要である。粒子は胃液の酸度(pH3)や飲料水に含まれる程度の低レベルな塩素には抵抗性を示す。また温度に対しては、60 程度の熱には抵抗性を示す。したがってウイルス粒子の感染性を奪うには、次亜塩素酸ナトリウムなどで消毒するか、85 以上で少なくとも1分以上加熱する必要があるとされている。ノロウイルス食中毒の予防に関するQ&A(厚生労働省作成:平成16年2月4日)に詳細が記されている。

治療としてはノロウイルスの増殖を抑える薬剤はなく、整腸剤や痛み止めなどの対症療法のみである。

感染症法における取り扱い

ノロウイルスによる胃腸炎は、5類感染症定点把握疾患である感染性胃腸炎の重要な疾患である。感染性胃腸炎は全国約3,000カ所の小児科定点医療機関より、毎週報告がなされている。

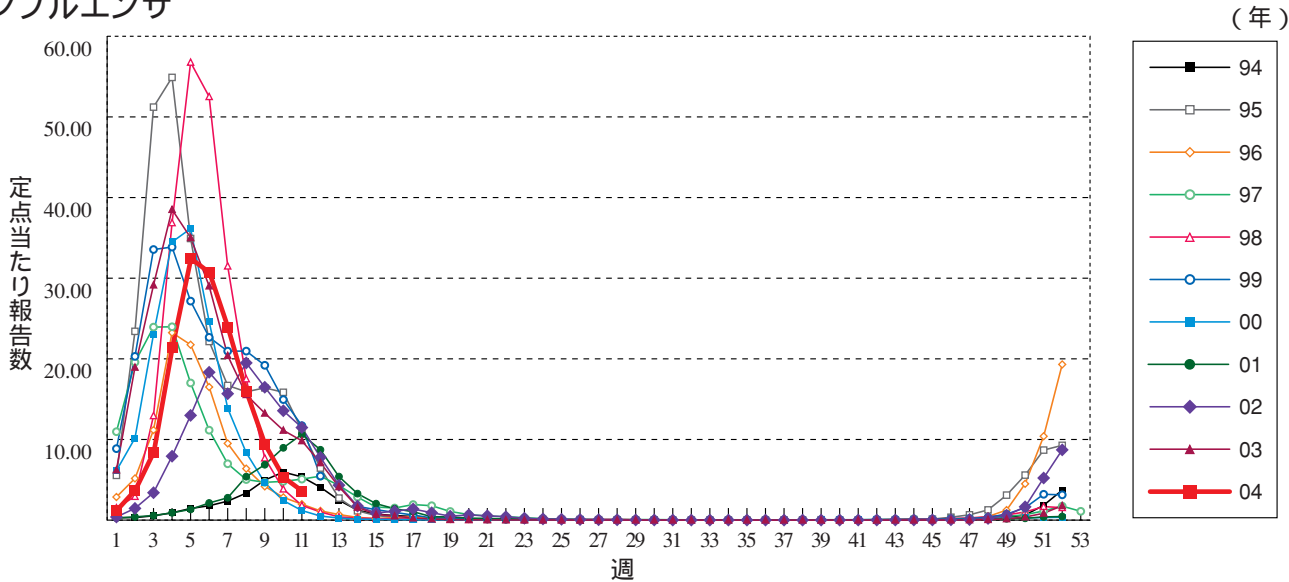
食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

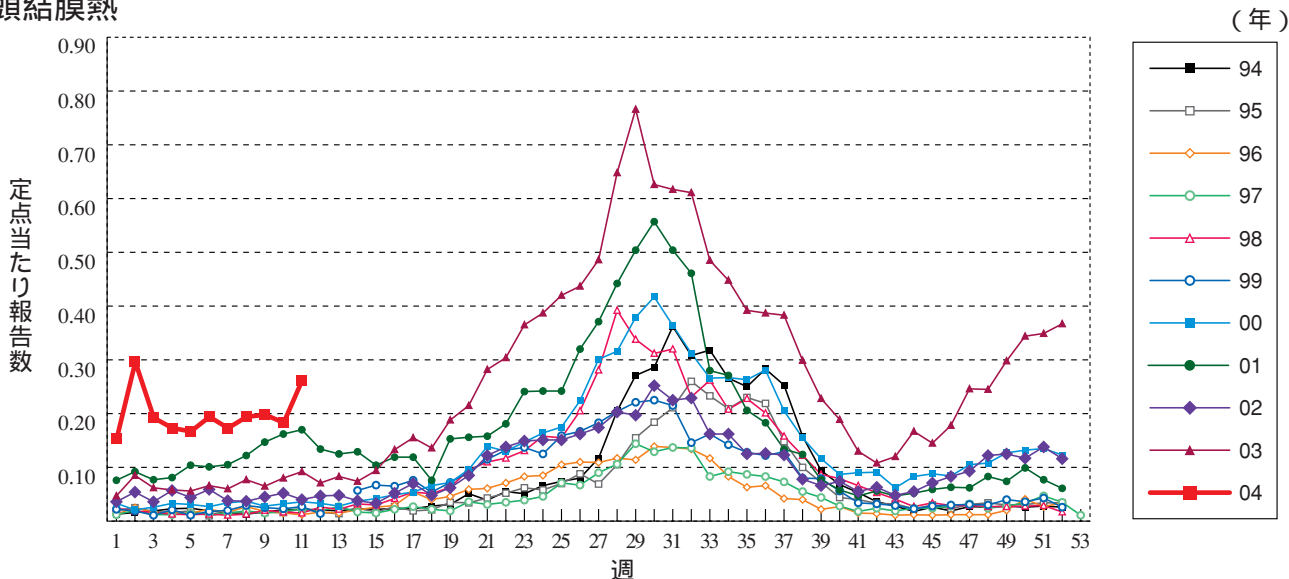
(国立感染症研究所ウイルス第二部 片山和彦)

グラフ総覧(11週)

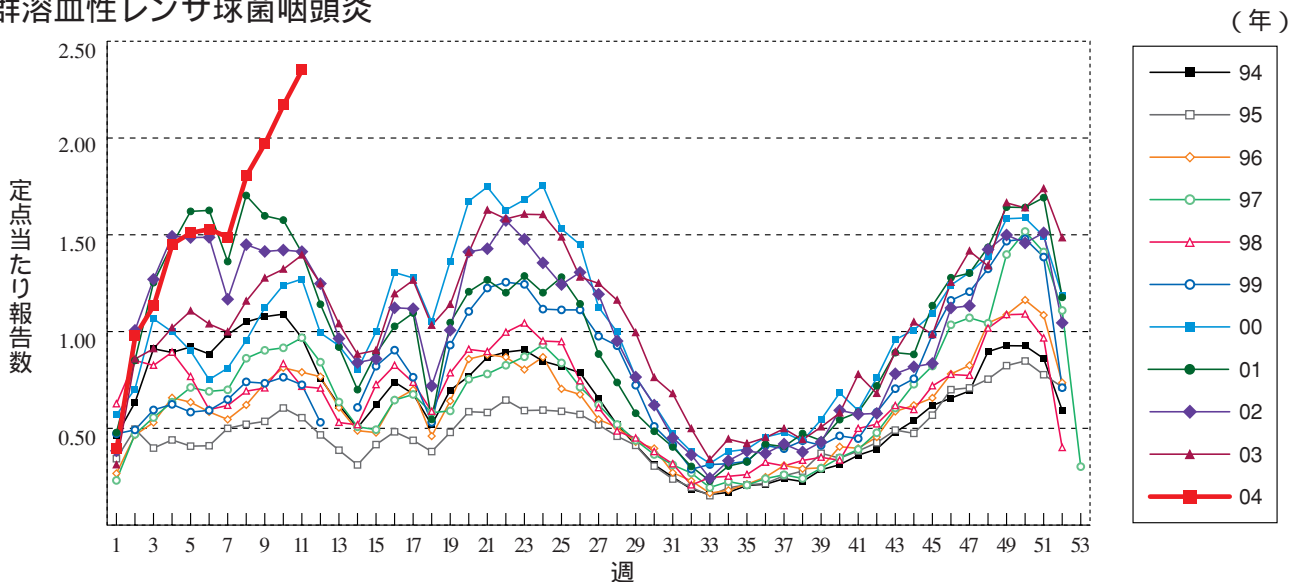
インフルエンザ



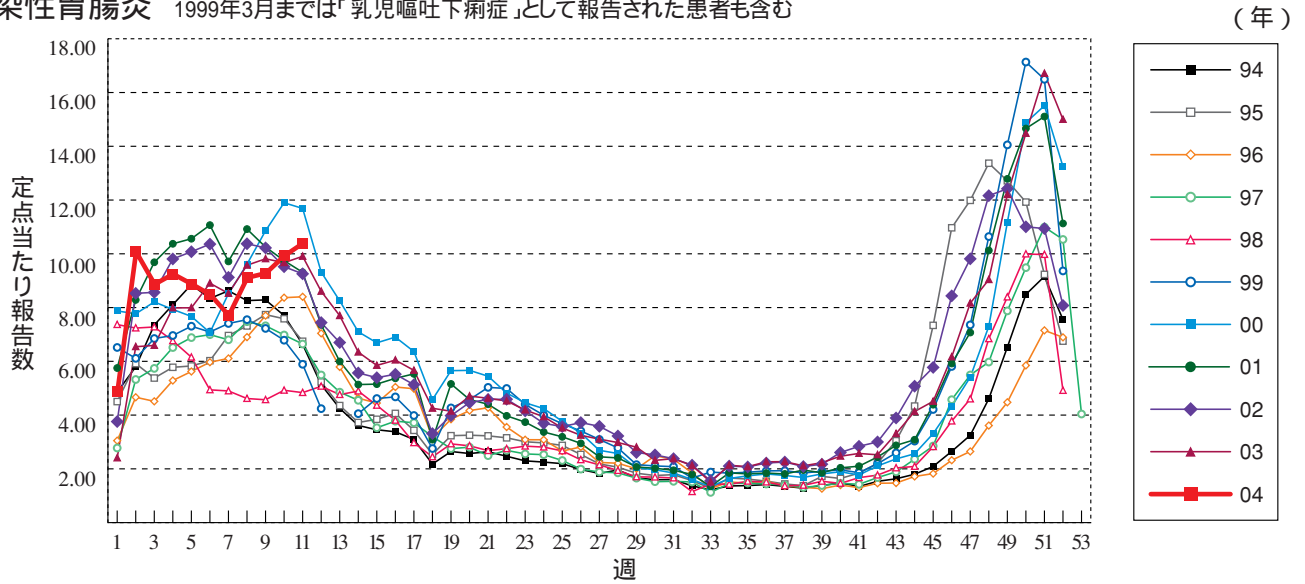
咽頭結膜熱



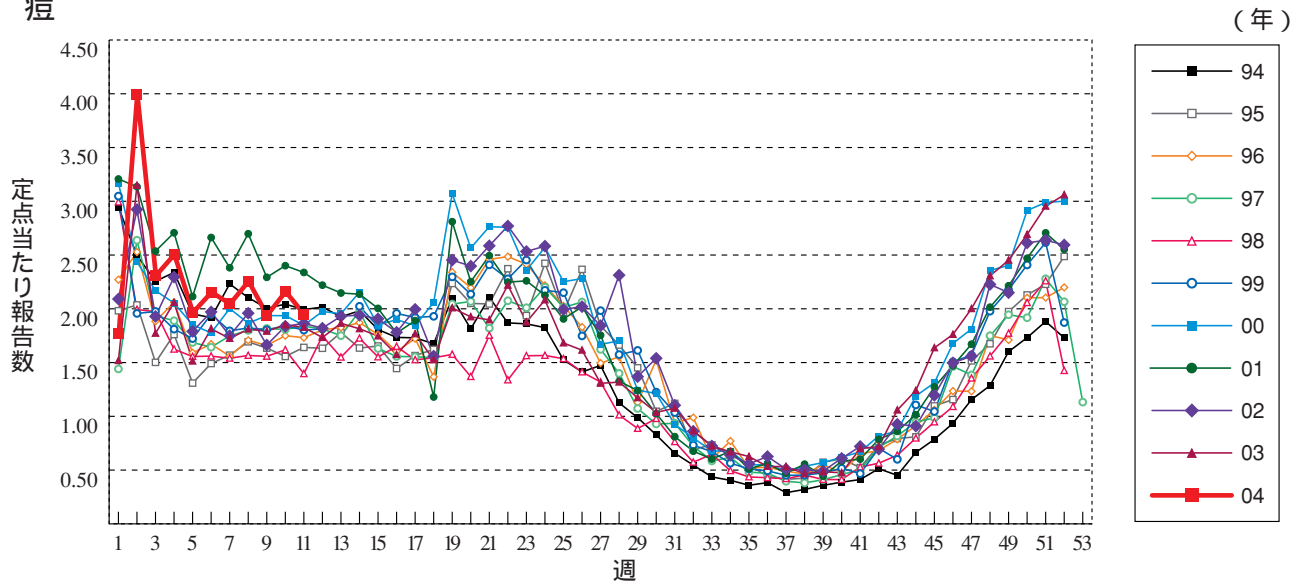
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



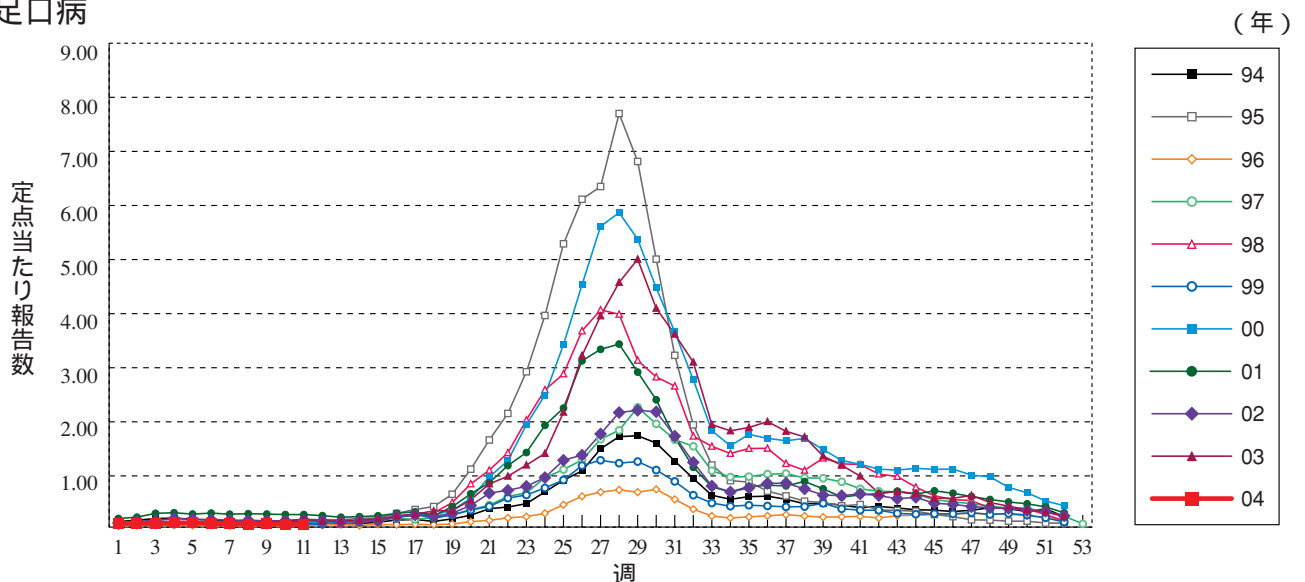
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



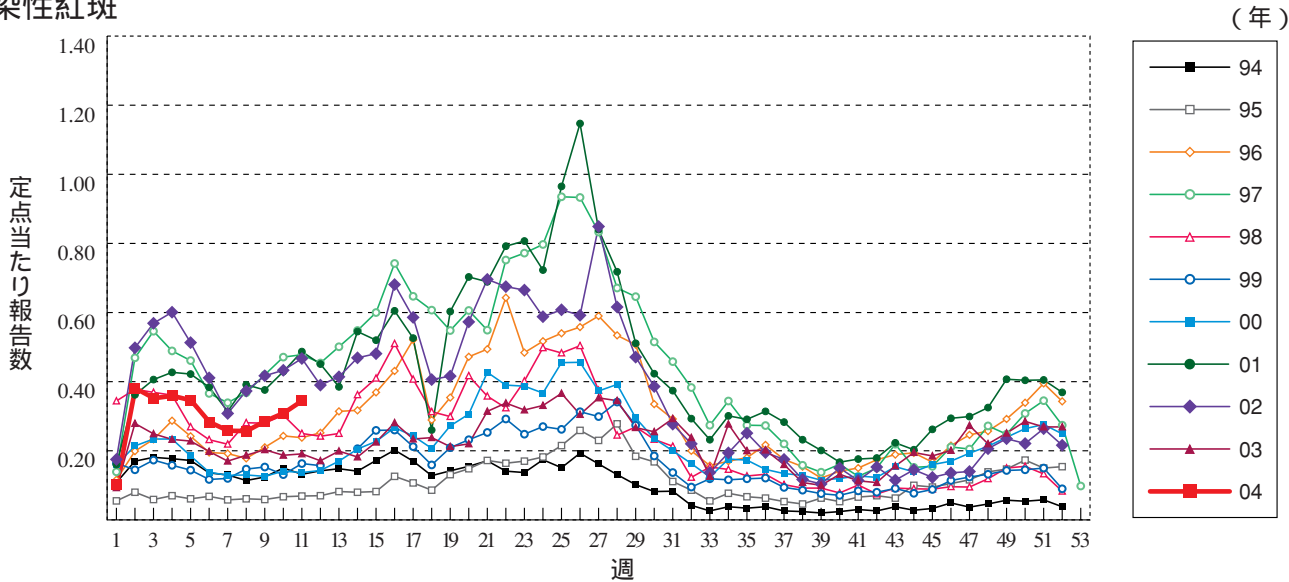
水痘



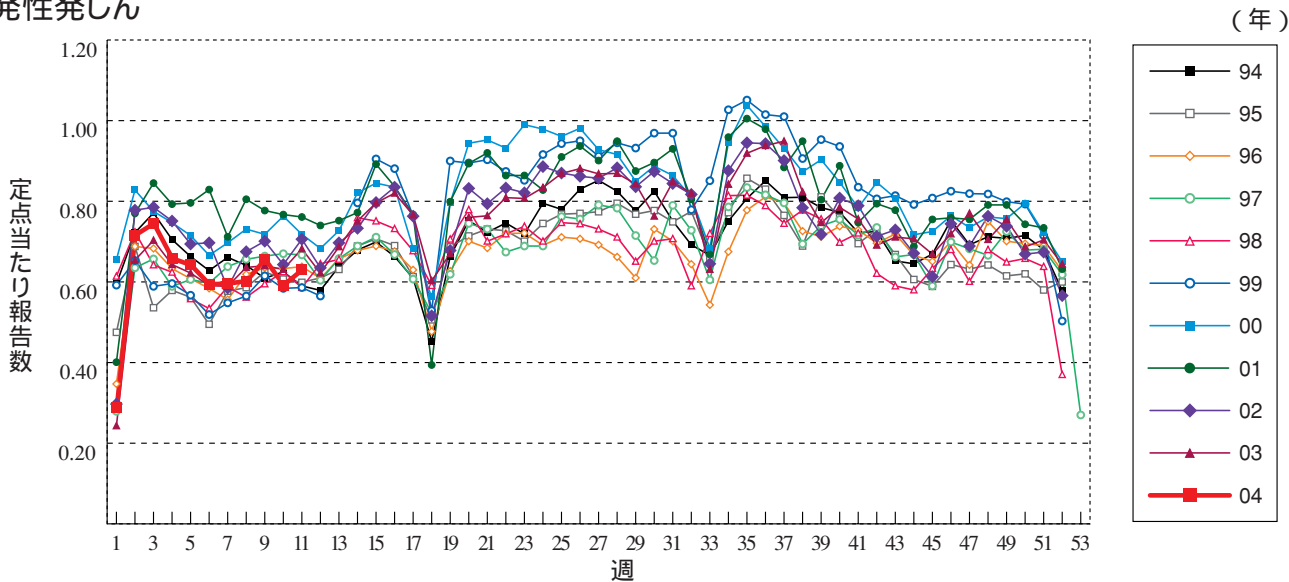
手足口病



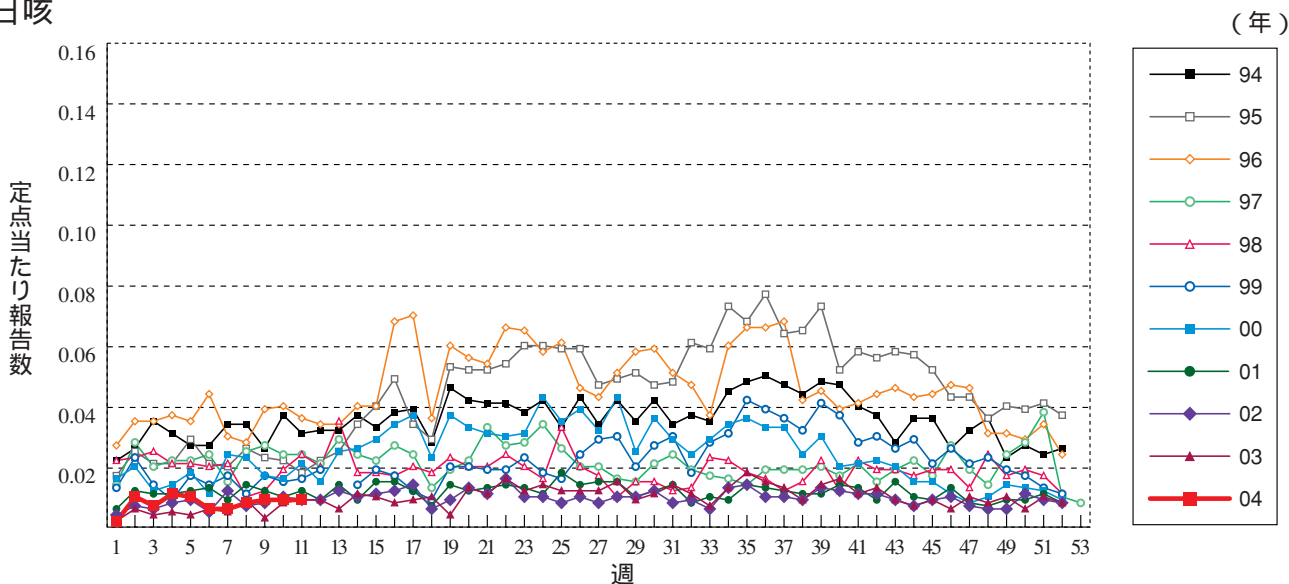
伝染性紅斑



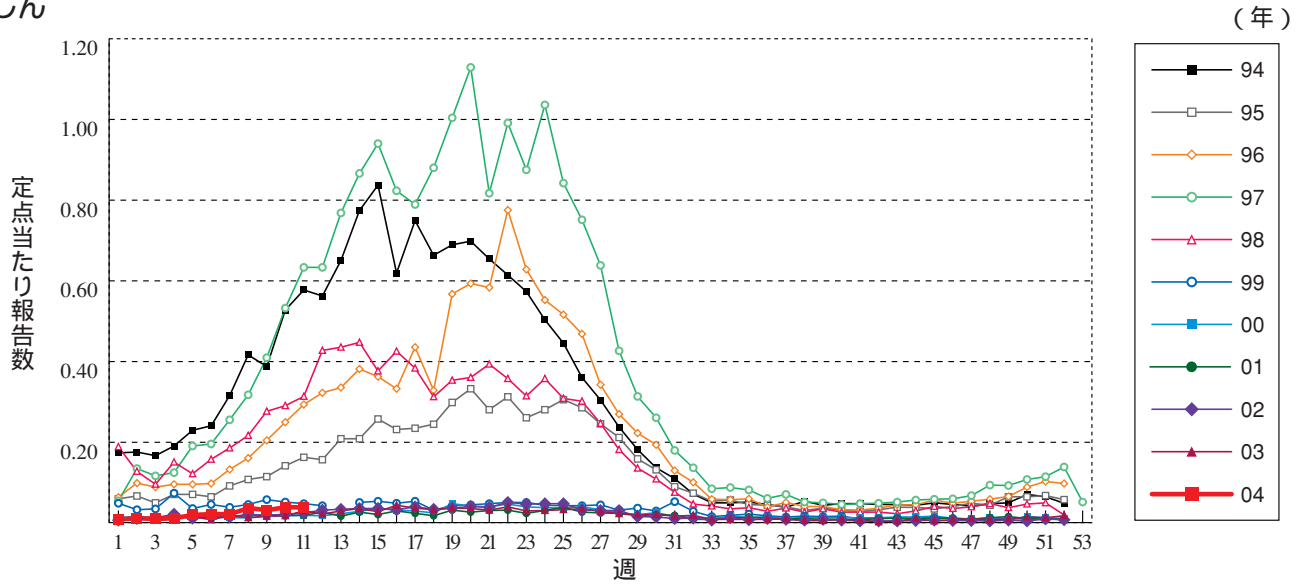
突発性発しん



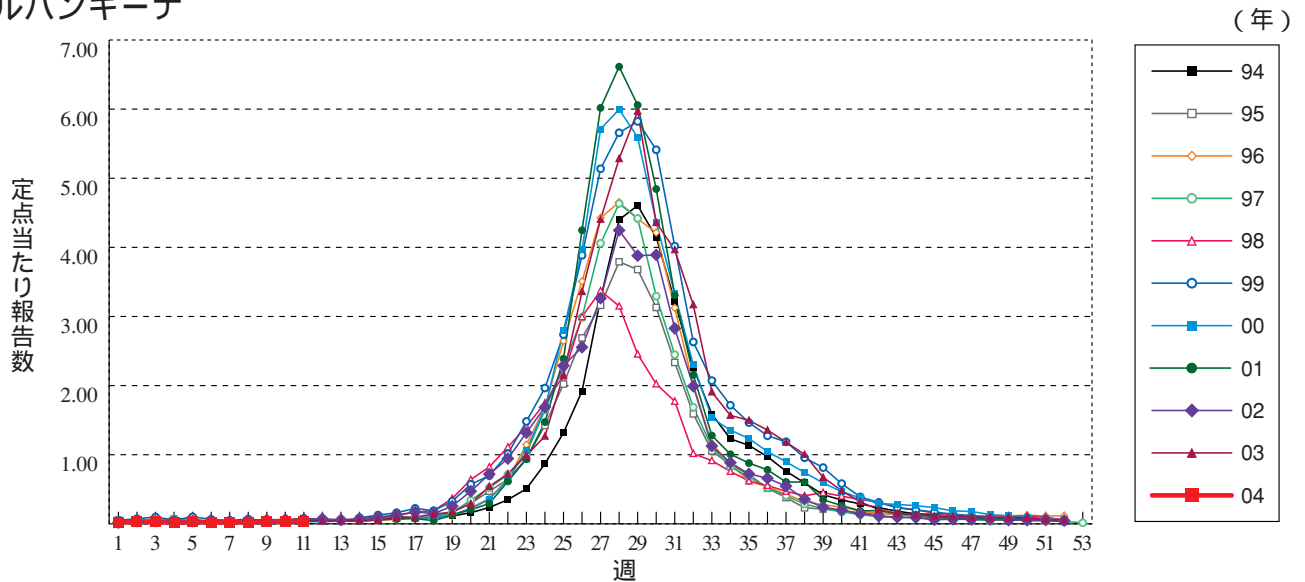
百日咳



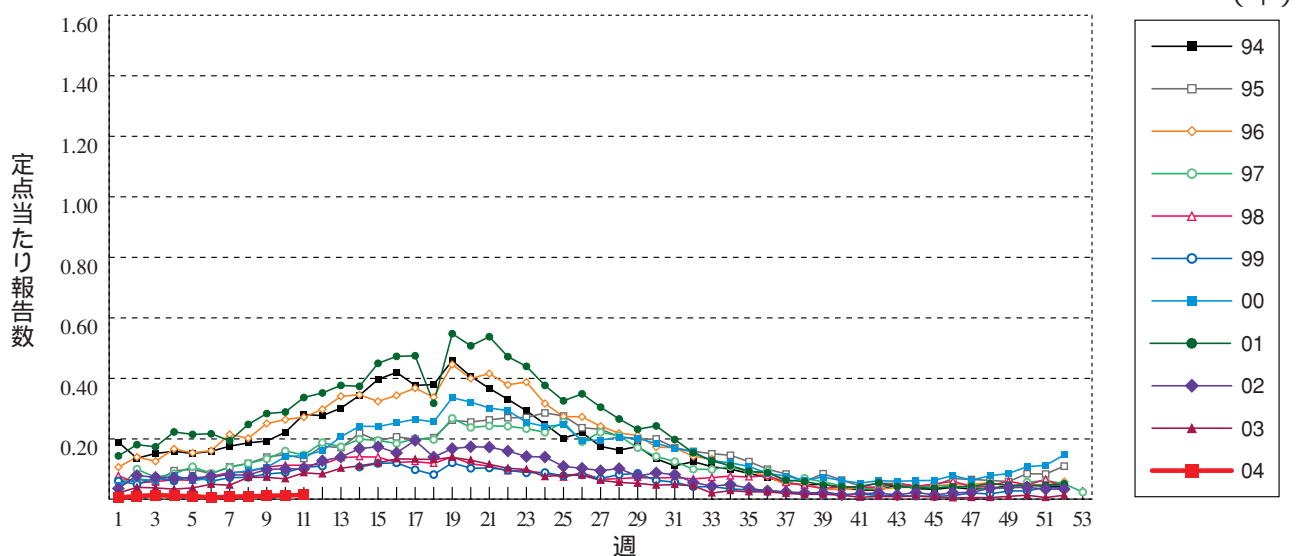
風しん



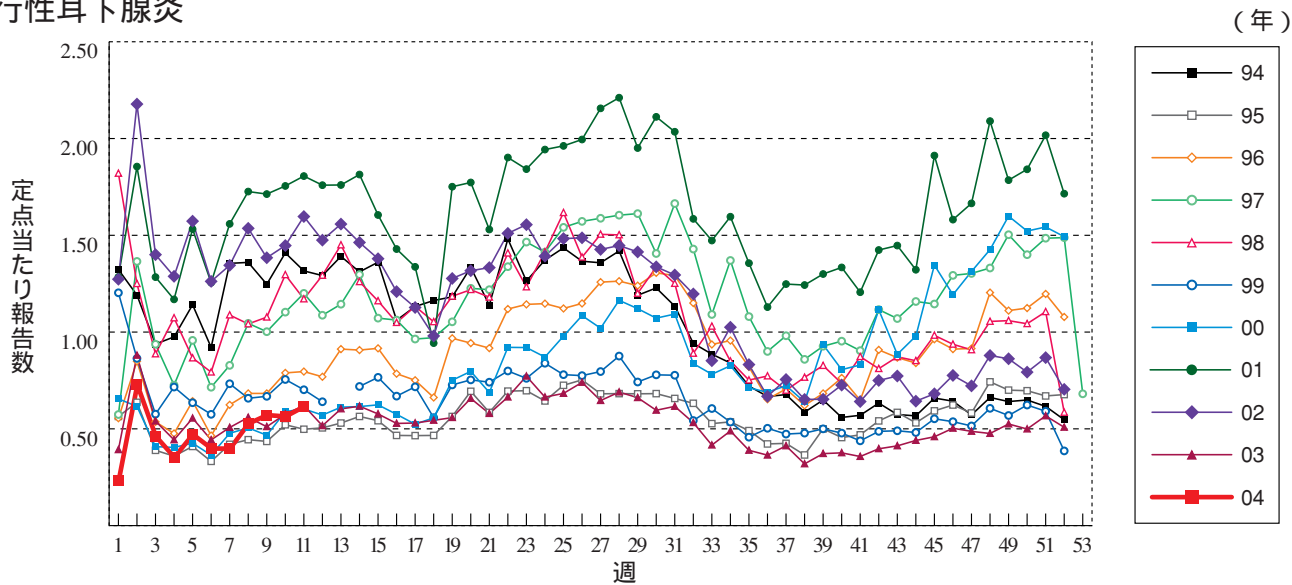
ヘルパンギーナ



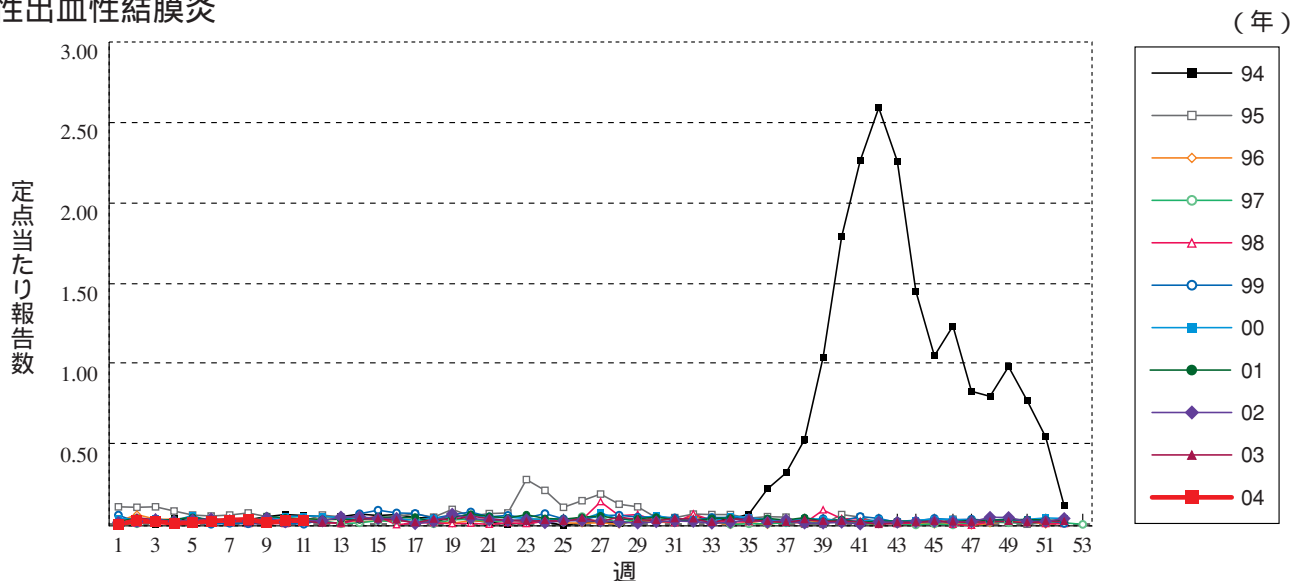
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



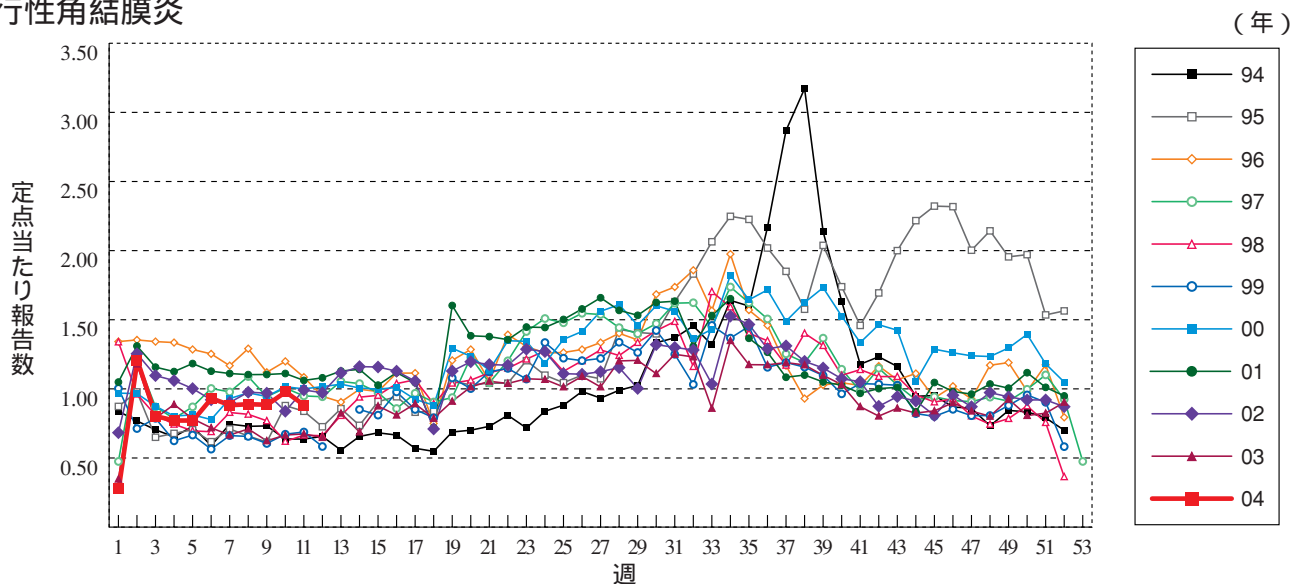
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

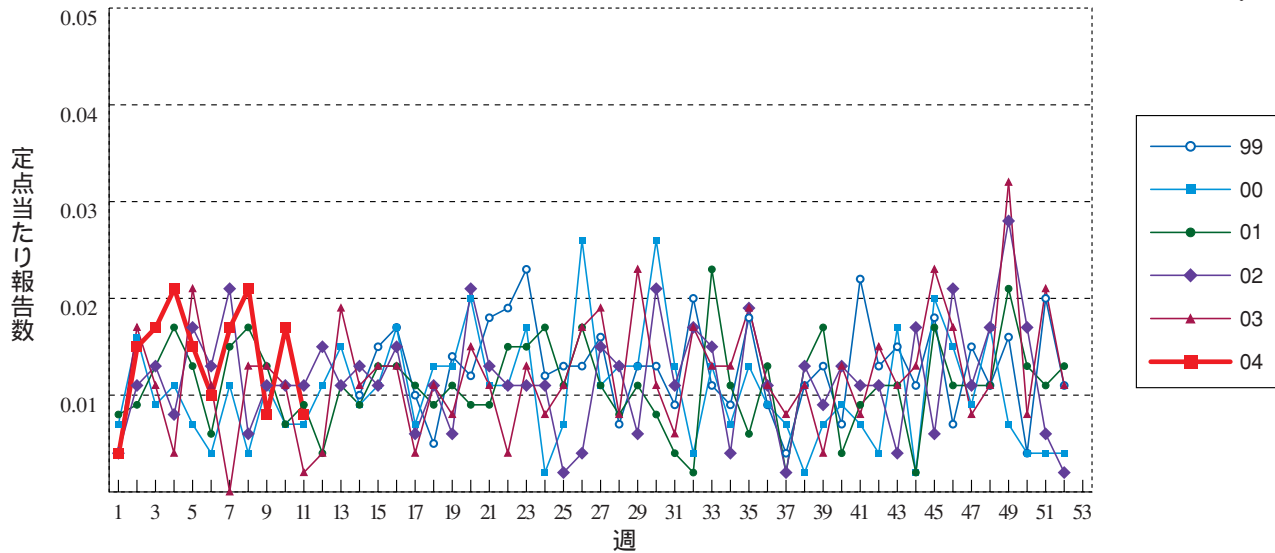


流行性角結膜炎



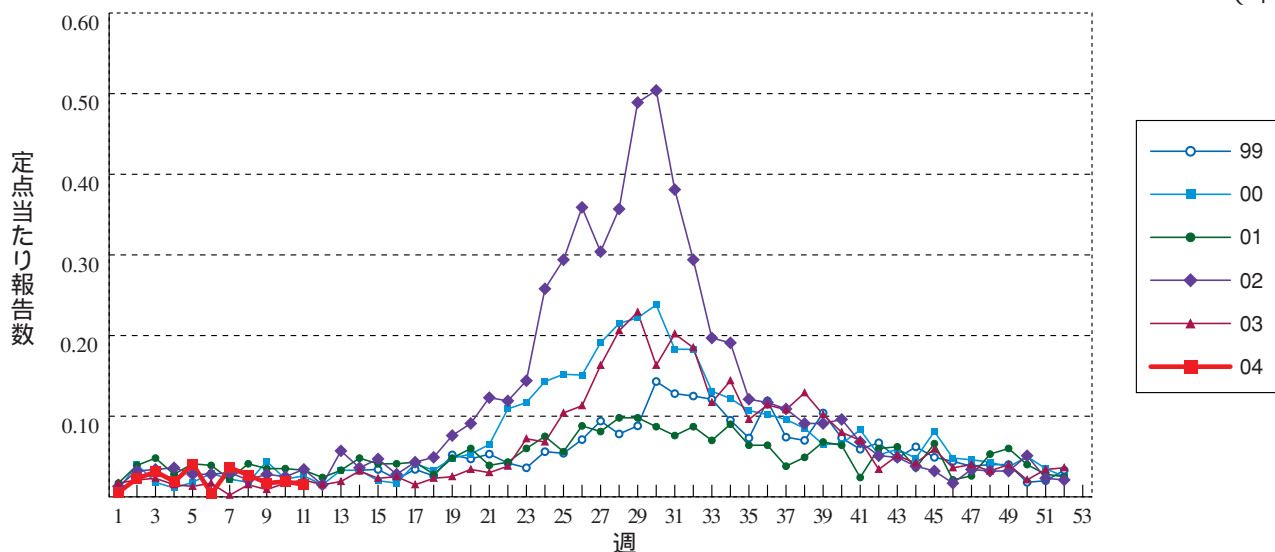
細菌性髄膜炎

(年)



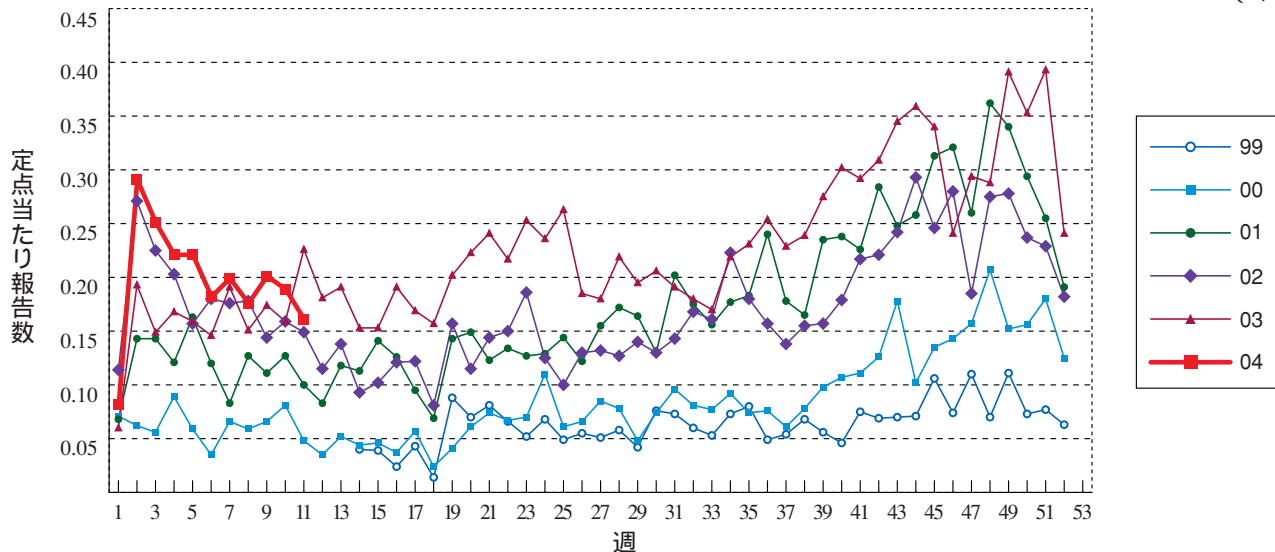
無菌性髄膜炎

(年)



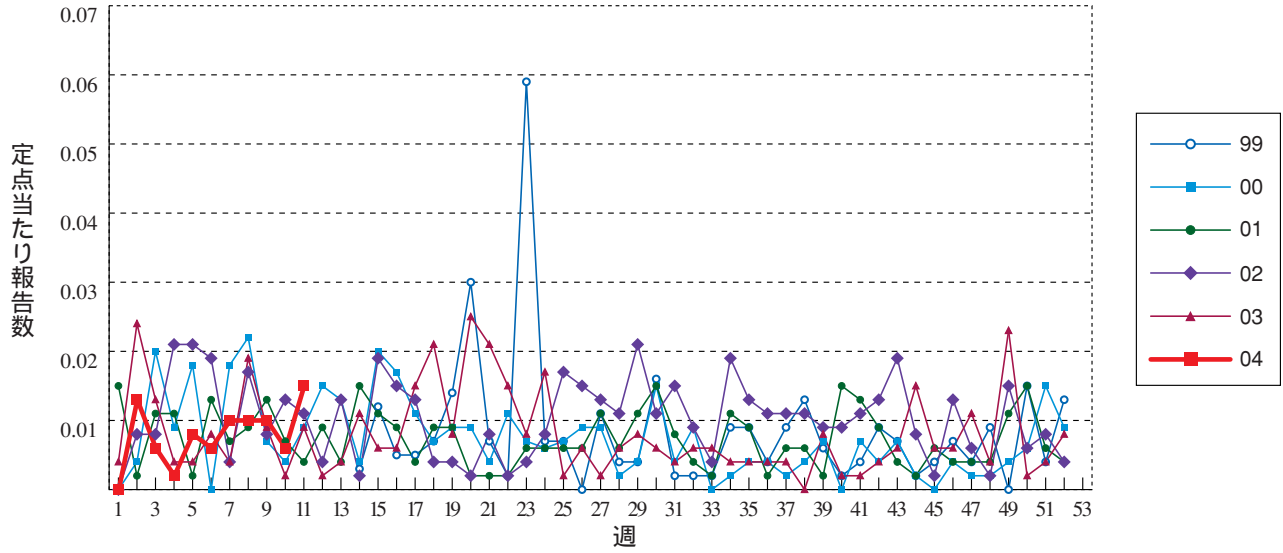
マイコプラズマ肺炎

(年)



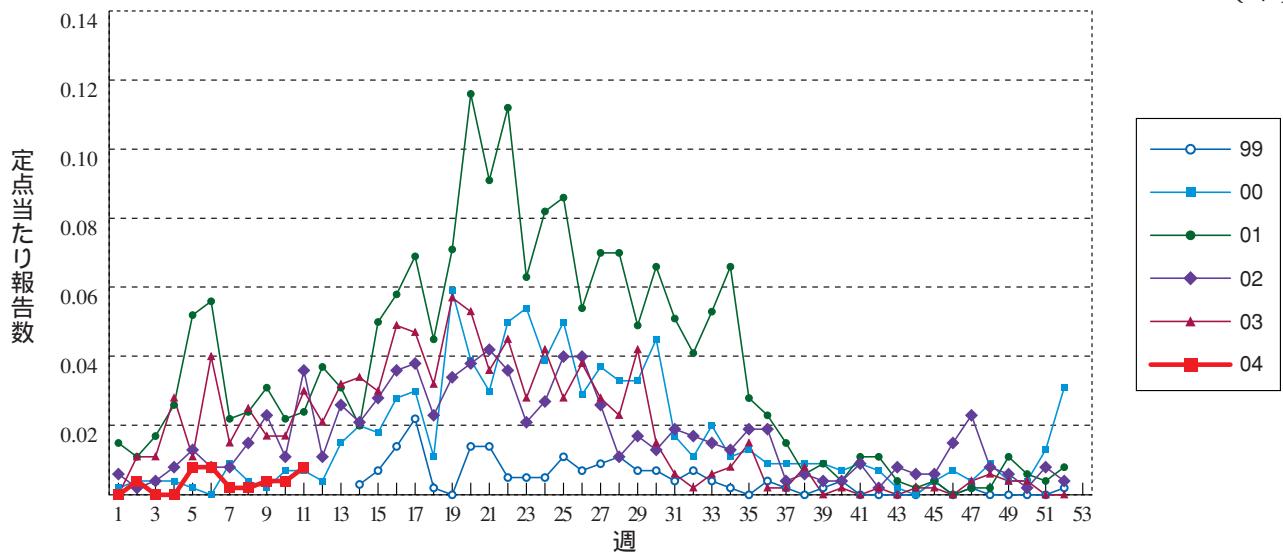
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

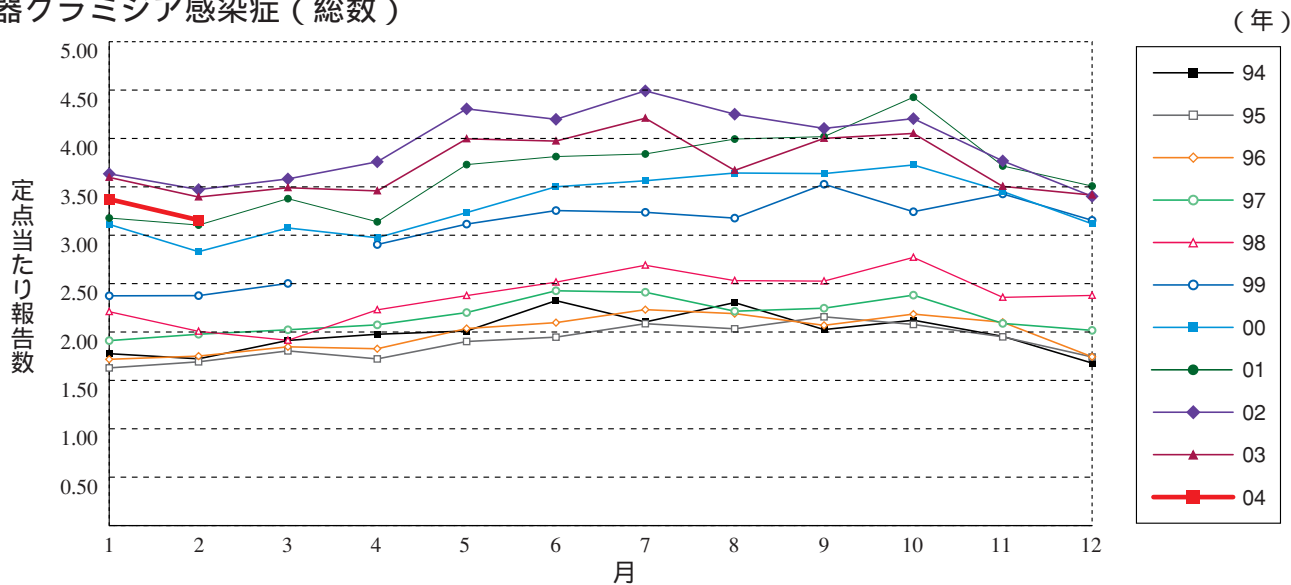




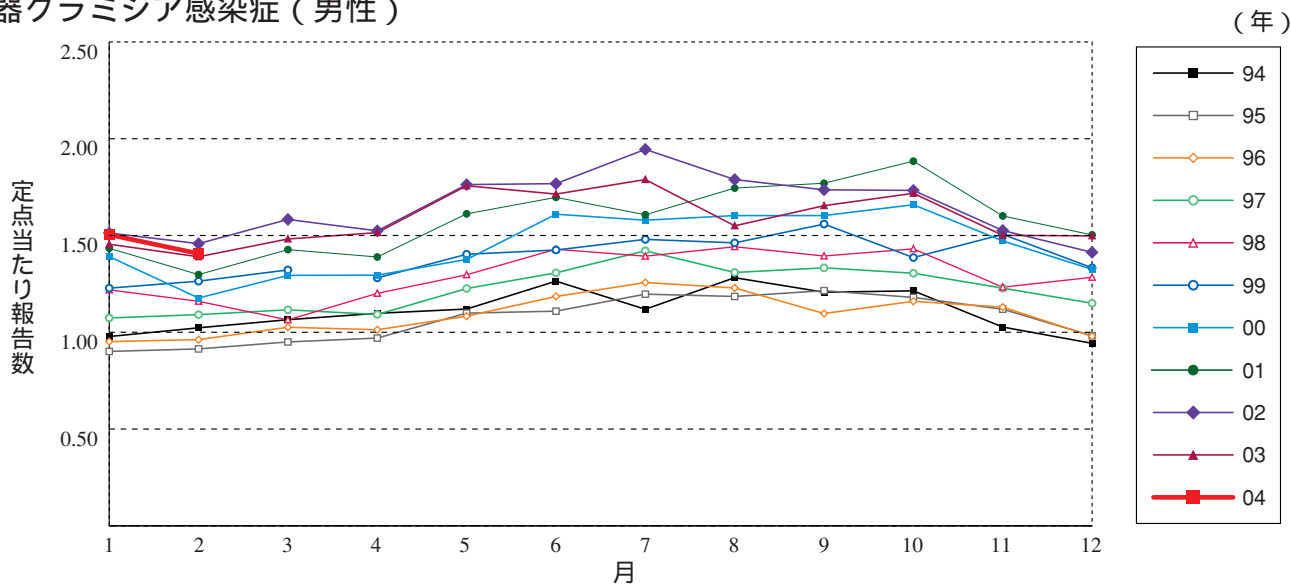
グラフ総覧(2月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

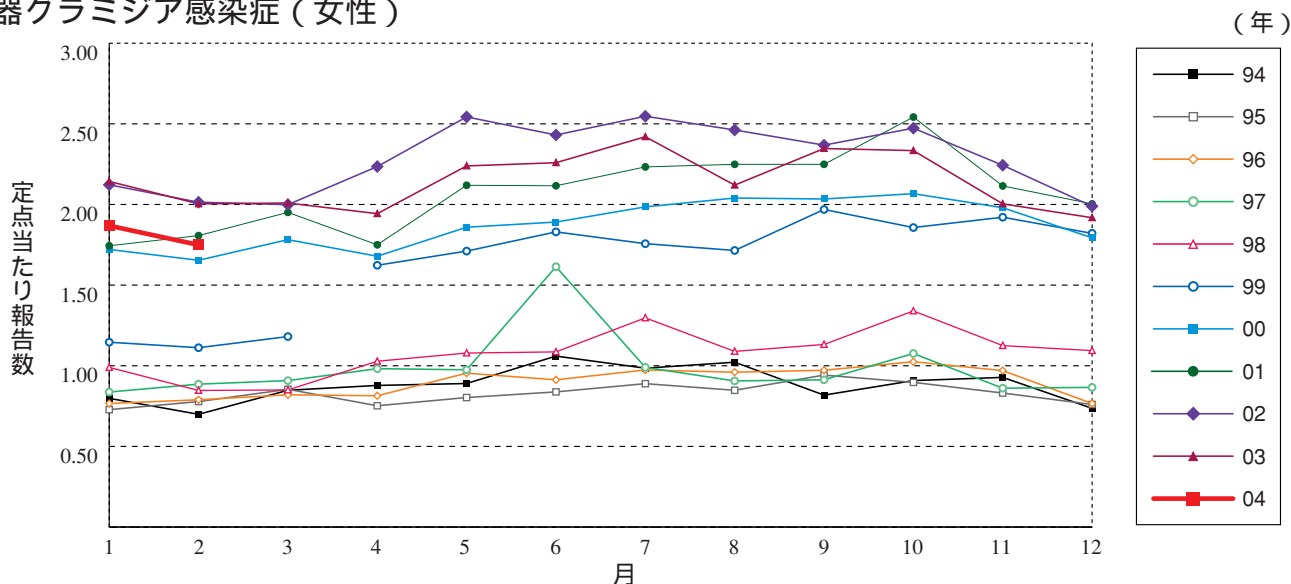
性器クラミジア感染症(総数)



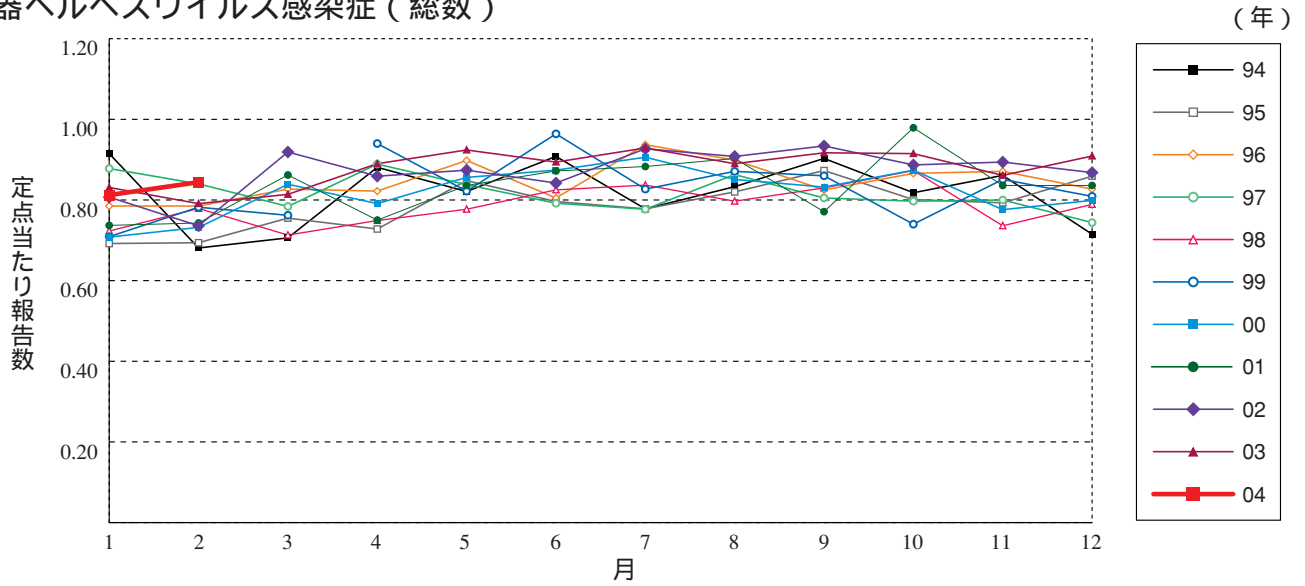
性器クラミジア感染症(男性)



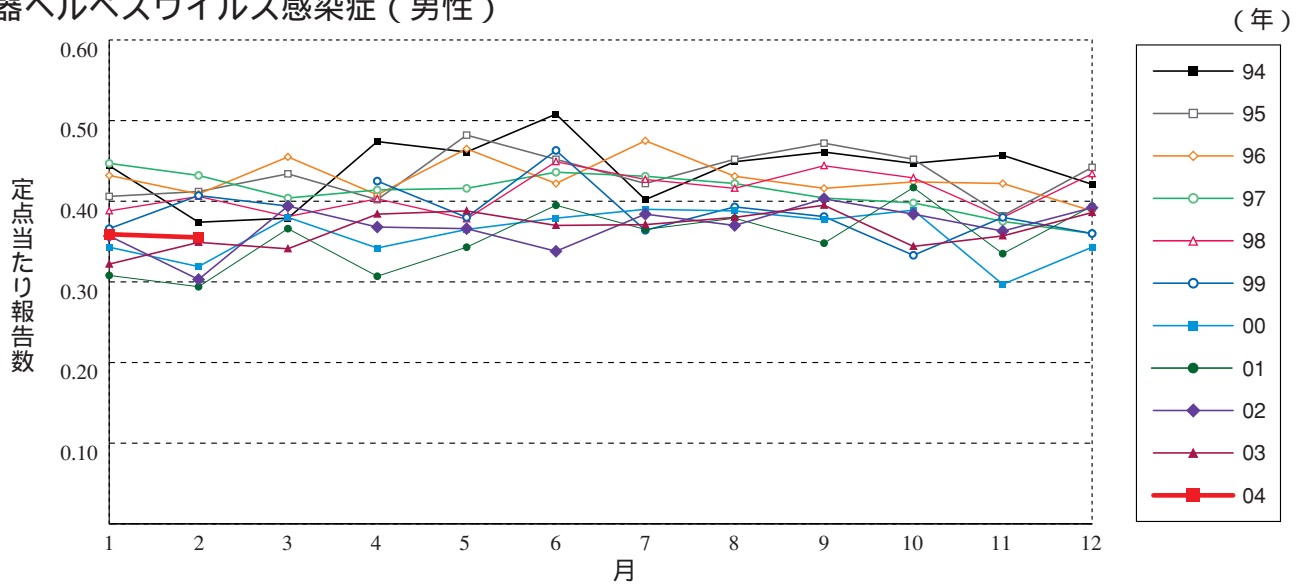
性器クラミジア感染症(女性)



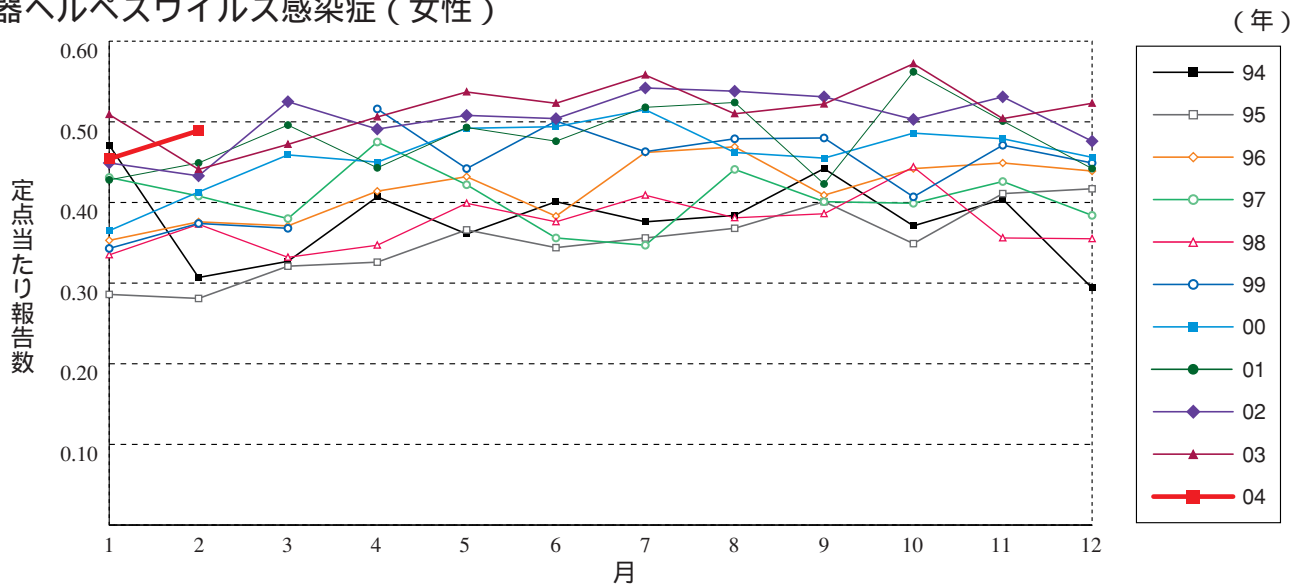
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



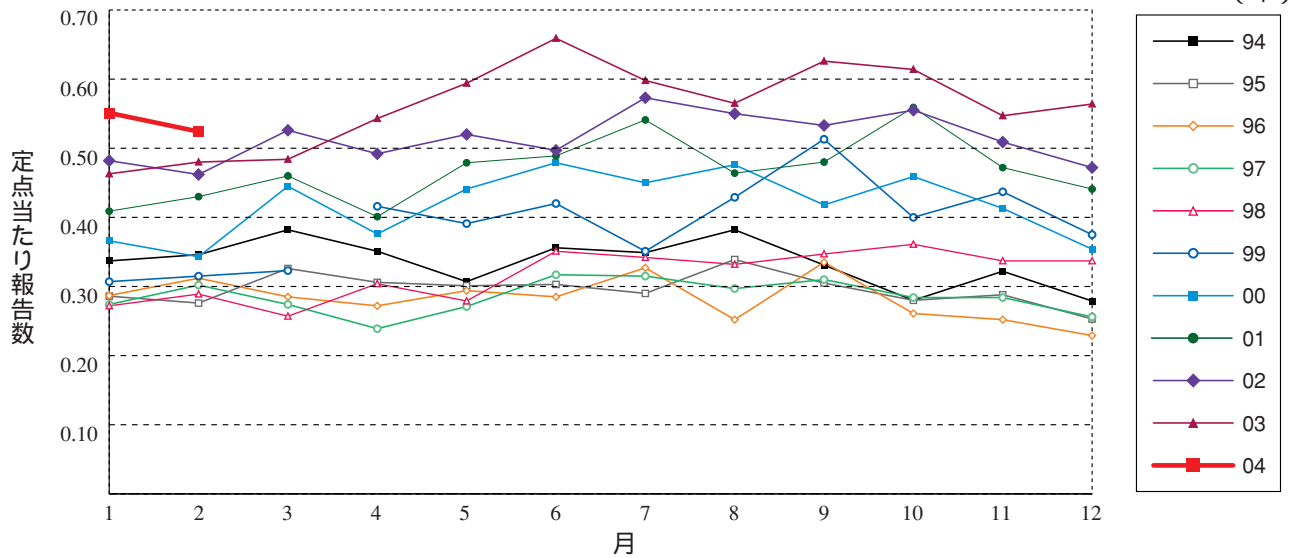
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



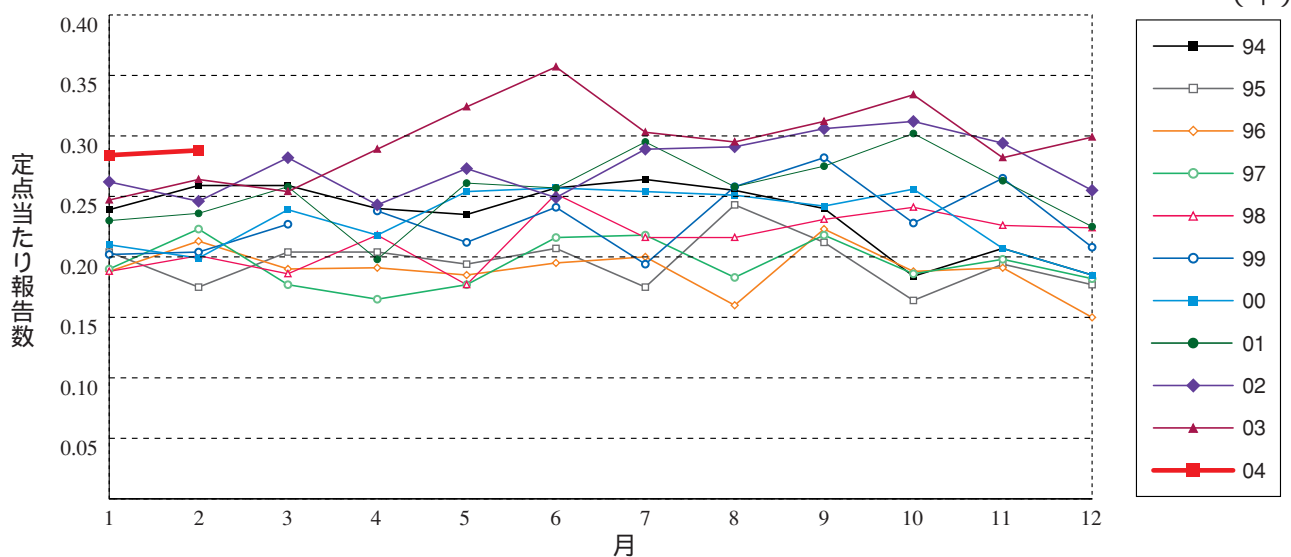
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



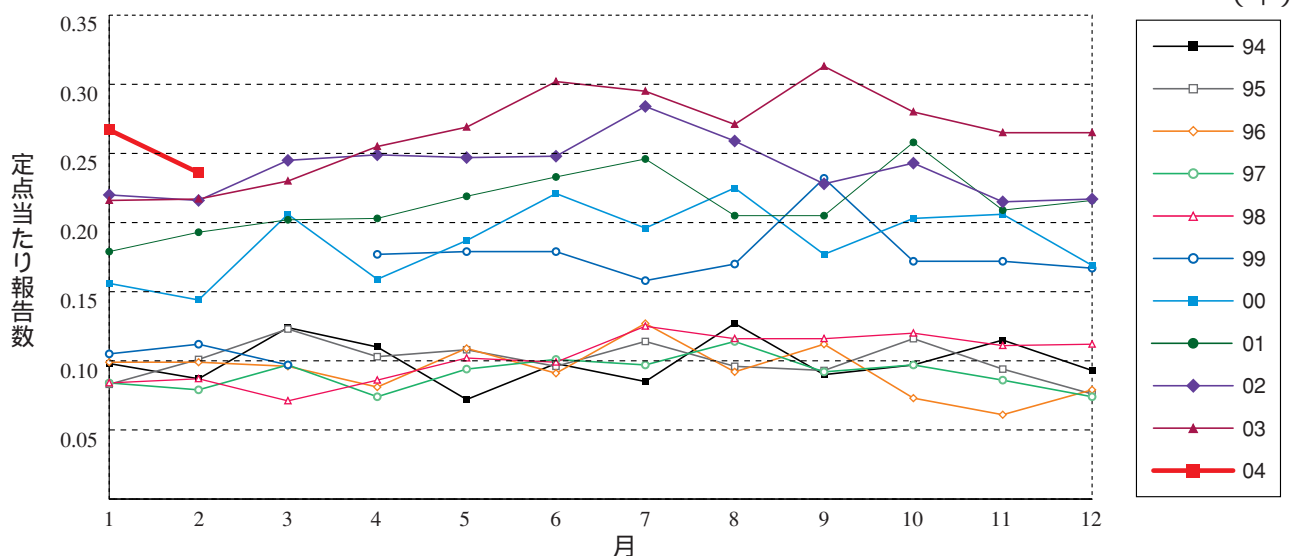
尖圭コンジローマ (総数)



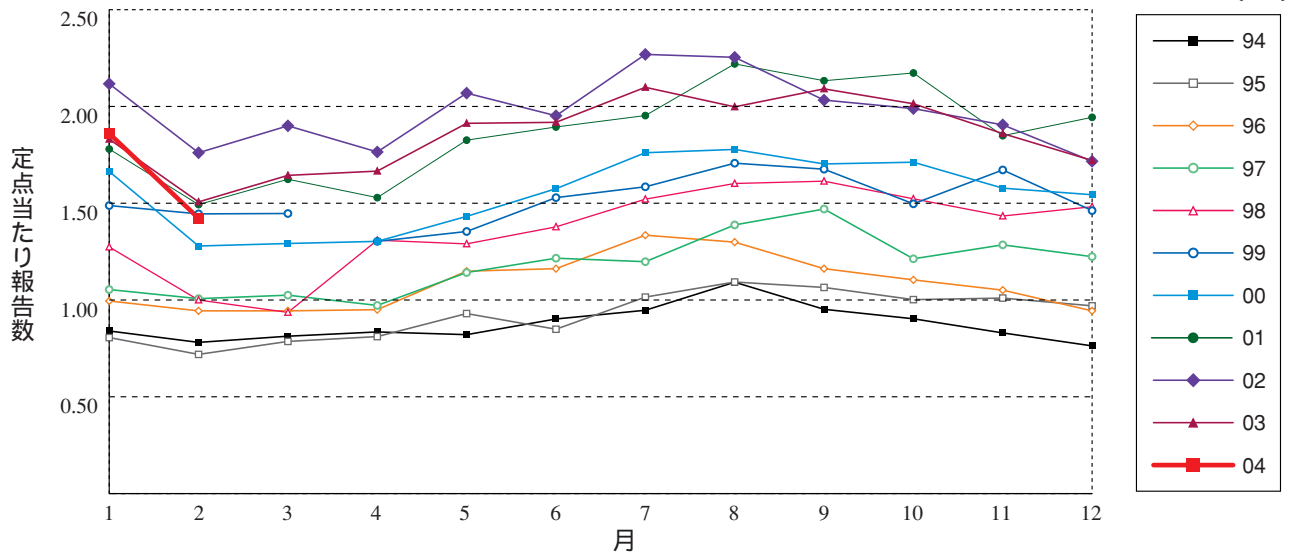
尖圭コンジローマ (男性)



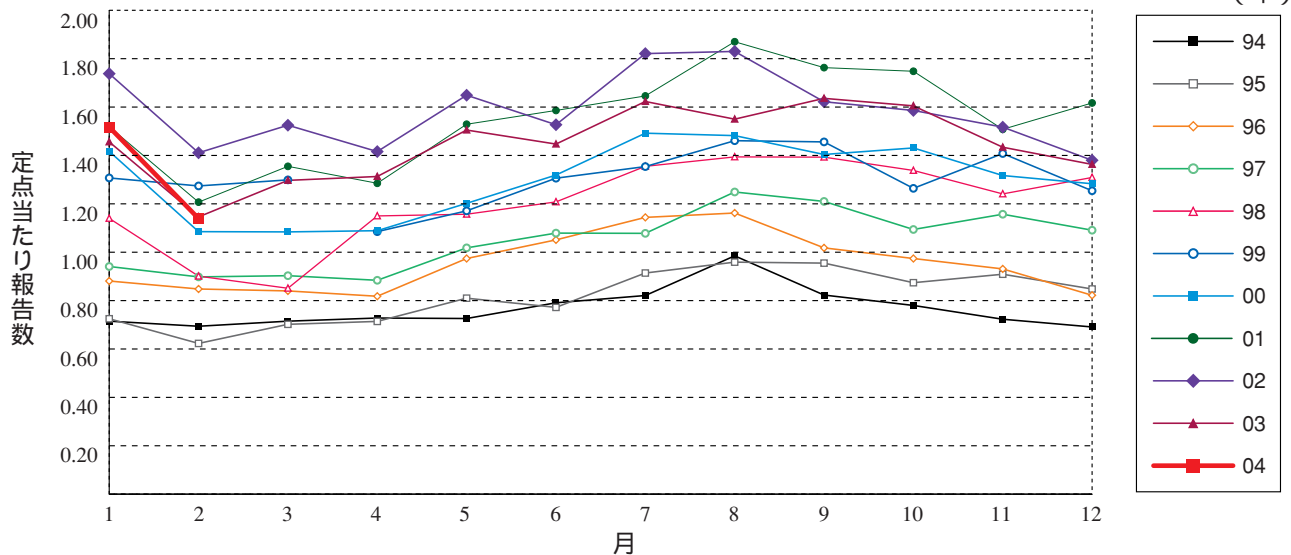
尖圭コンジローマ (女性)



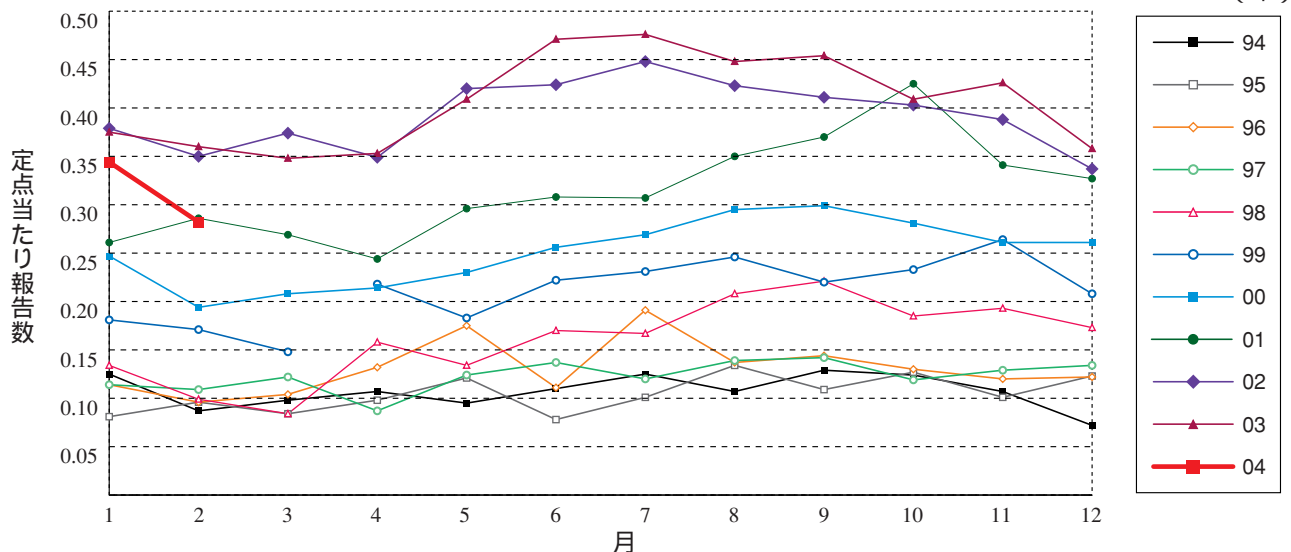
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

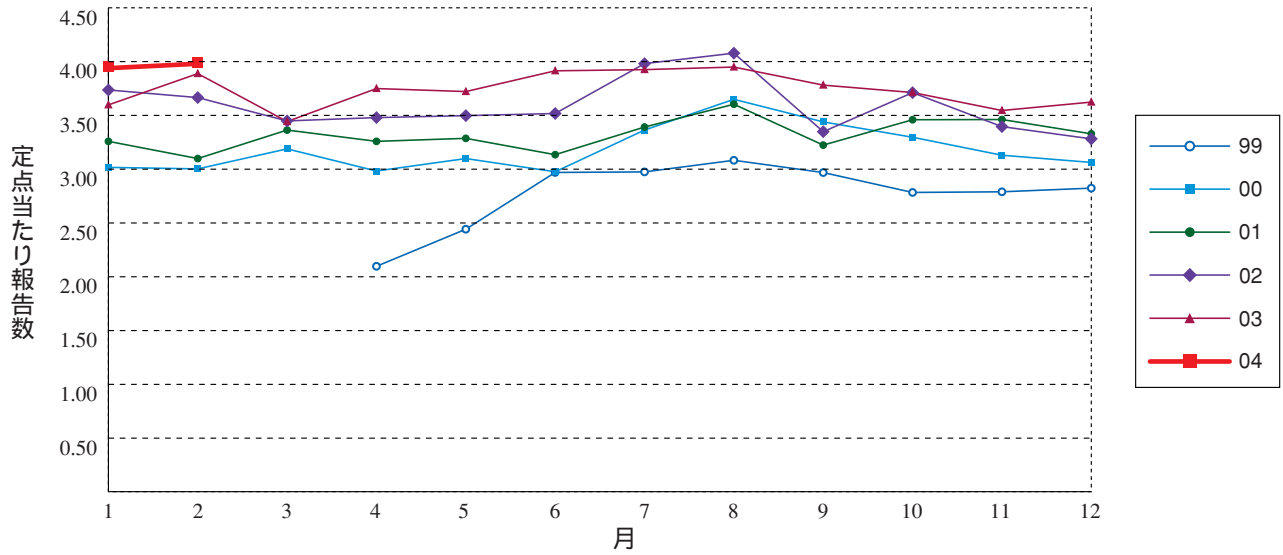


淋菌感染症 (女性)



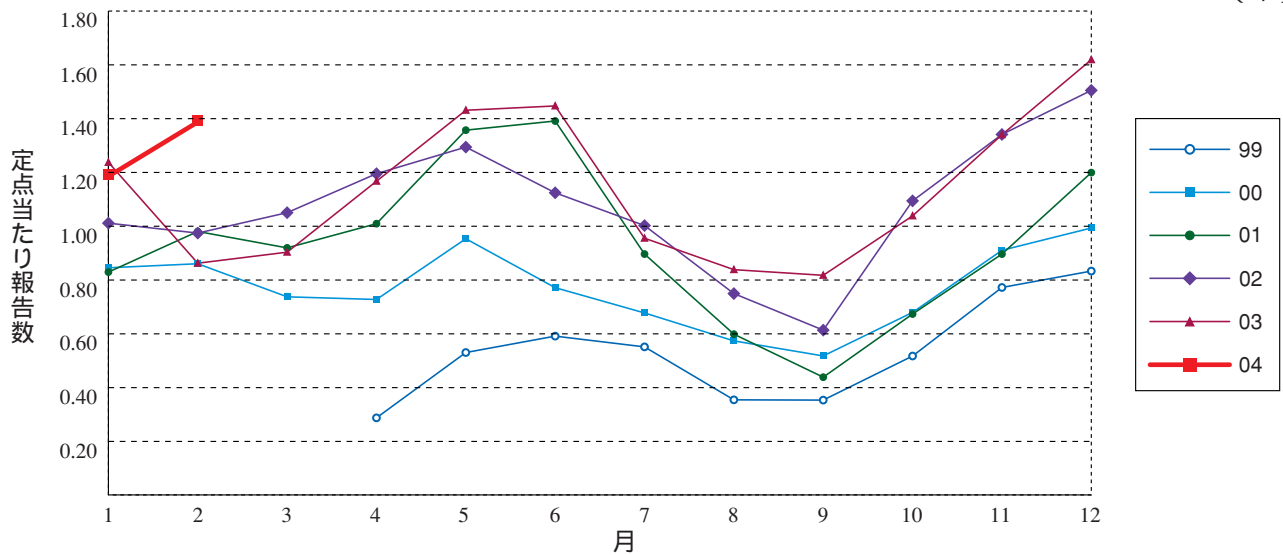
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



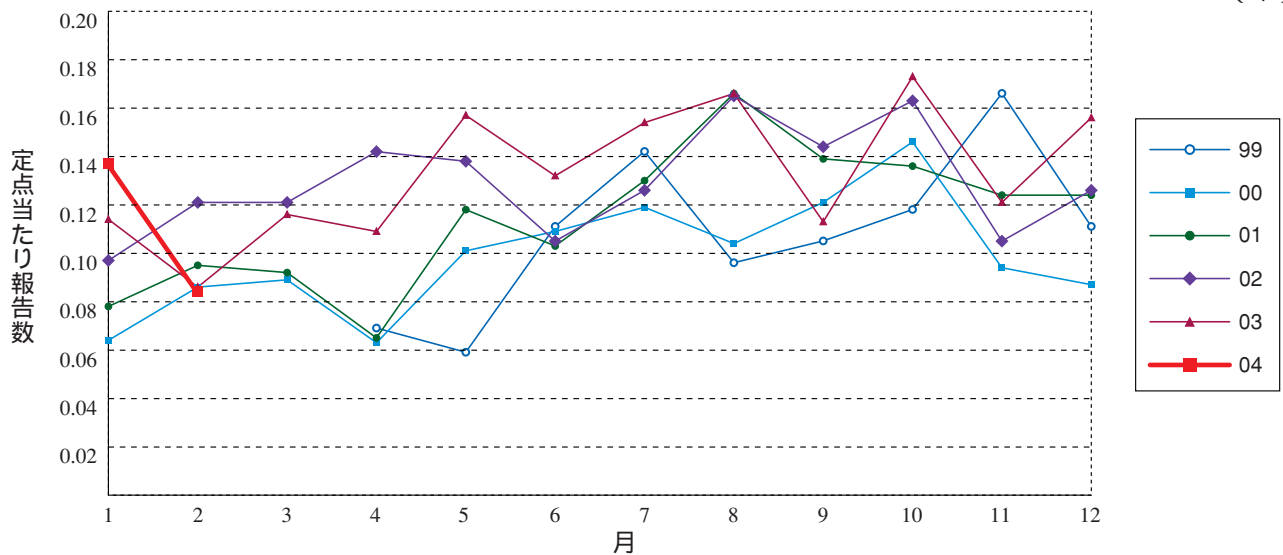
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





2月のデータ

注 3月12日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成16年2月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2897	3.16	775	0.84	481	0.52	1305	1.42	1861	3.99	649	1.39	39	0.08
北海道	236	5.62	52	1.24	27	0.64	88	2.10	47	1.96	8	0.33	2	0.08
青森県	45	3.46	10	0.77	1	0.08	22	1.69	13	2.17	-	-	-	-
岩手県	43	3.31	8	0.62	10	0.77	16	1.23	113	5.65	13	0.65	12	0.60
宮城県	69	3.83	9	0.50	19	1.06	23	1.28	36	3.00	21	1.75	6	0.50
秋田県	31	2.21	1	0.07	7	0.50	18	1.29	36	5.14	4	0.57	-	-
山形県	24	2.40	3	0.30	4	0.40	7	0.70	36	3.60	8	0.80	1	0.10
福島県	44	2.75	13	0.81	7	0.44	34	2.13	8	1.14	6	0.86	-	-
茨城県	113	5.38	13	0.62	11	0.52	24	1.14	13	1.44	-	-	-	-
栃木県	53	3.31	13	0.81	16	1.00	39	2.44	55	7.86	5	0.71	-	-
群馬県	107	4.28	23	0.92	14	0.56	23	0.92	32	3.20	3	0.30	1	0.10
埼玉県	149	2.92	35	0.69	20	0.39	36	0.71	32	3.56	6	0.67	-	-
千葉県	113	3.05	30	0.81	18	0.49	38	1.03	35	3.89	89	9.89	2	0.22
東京都	220	5.37	71	1.73	56	1.37	97	2.37	114	4.75	34	1.42	2	0.08
神奈川県	143	2.38	33	0.55	11	0.18	71	1.18	16	1.45	41	3.73	-	-
新潟県	40	2.00	11	0.55	7	0.35	26	1.30	57	4.38	10	0.77	-	-
富山県	22	3.14	4	0.57	2	0.29	12	1.71	48	9.60	41	8.20	1	0.20
石川県	11	1.10	8	0.80	5	0.50	6	0.60	19	3.80	6	1.20	-	-
福井県	13	2.60	2	0.40	1	0.20	4	0.80	20	2.50	12	1.50	1	0.13
山梨県	11	1.83	-	-	1	0.17	5	0.83	33	3.30	11	1.10	1	0.10
長野県	40	2.50	7	0.44	12	0.75	17	1.06	33	3.00	3	0.27	-	-
岐阜県	22	1.47	5	0.33	5	0.33	16	1.07	11	2.20	-	-	-	-
静岡県	68	2.27	9	0.30	7	0.23	19	0.63	67	6.70	31	3.10	-	-
愛知県	159	3.12	35	0.69	36	0.71	85	1.67	57	4.38	3	0.23	-	-
三重県	16	1.07	5	0.33	3	0.20	6	0.40	42	4.67	1	0.11	-	-
滋賀県	11	1.22	1	0.11	2	0.22	7	0.78	37	5.29	-	-	-	-
京都府	51	2.22	18	0.78	3	0.13	15	0.65	8	1.14	-	-	-	-
大阪府	286	4.77	136	2.27	69	1.15	150	2.50	41	2.93	6	0.43	1	0.07
兵庫県	96	2.04	26	0.55	14	0.30	40	0.85	41	2.93	7	0.50	-	-
奈良県	15	1.67	3	0.33	3	0.33	14	1.56	38	6.33	11	1.83	-	-
和歌山県	10	1.25	5	0.63	2	0.25	5	0.63	47	4.27	5	0.45	1	0.09
鳥取県	19	3.80	1	0.20	1	0.20	9	1.80	18	3.60	1	0.20	-	-
島根県	6	1.00	-	-	2	0.33	5	0.83	53	6.63	25	3.13	-	-
岡山県	62	3.65	11	0.65	10	0.59	38	2.24	17	3.40	6	1.20	-	-
広島県	55	2.39	13	0.57	11	0.48	17	0.74	130	6.84	62	3.26	3	0.16
山口県	27	2.25	5	0.42	5	0.42	15	1.25	109	13.63	32	4.00	2	0.25
徳島県	14	2.33	5	0.83	6	1.00	-	-	8	1.14	-	-	-	-
香川県	35	5.00	4	0.57	3	0.43	11	1.57	43	10.75	6	1.50	-	-
愛媛県	8	0.73	2	0.18	5	0.45	12	1.09	12	2.00	3	0.50	-	-
高知県	8	1.33	1	0.17	-	-	1	0.17	47	5.88	53	6.63	-	-
福岡県	170	4.59	53	1.43	19	0.51	106	2.86	39	2.60	18	1.20	-	-
佐賀県	12	1.71	2	0.29	3	0.43	8	1.14	33	5.50	13	2.17	-	-
長崎県	16	1.60	16	1.60	2	0.20	15	1.50	5	0.42	-	-	1	0.08
熊本県	57	4.07	28	2.00	5	0.36	23	1.64	56	3.73	6	0.40	-	-
大分県	14	1.40	16	1.60	2	0.20	17	1.70	42	4.20	21	2.10	1	0.10
宮崎県	31	2.82	9	0.82	3	0.27	22	2.00	24	3.43	12	1.71	1	0.14
鹿児島県	57	3.56	18	1.13	7	0.44	32	2.00	13	1.18	2	0.18	-	-
沖縄県	45	3.75	2	0.17	4	0.33	11	0.92	27	3.86	4	0.57	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成16年2月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1291	1.41	326	0.36	264	0.29	1046	1.14	1171	2.51	380	0.82	30	0.06
北海道	61	1.45	13	0.31	13	0.31	54	1.29	36	1.50	5	0.21	2	0.08
青森県	17	1.31	6	0.46	-	-	18	1.38	10	1.67	-	-	-	-
岩手県	14	1.08	4	0.31	7	0.54	14	1.08	81	4.05	7	0.35	8	0.40
宮城県	27	1.50	3	0.17	19	1.06	19	1.06	24	2.00	12	1.00	6	0.50
秋田県	13	0.93	1	0.07	4	0.29	14	1.00	26	3.71	3	0.43	-	-
山形県	11	1.10	-	-	2	0.20	6	0.60	23	2.30	6	0.60	1	0.10
福島県	25	1.56	2	0.13	1	0.06	33	2.06	6	0.86	6	0.86	-	-
茨城県	62	2.95	6	0.29	6	0.29	24	1.14	5	0.56	-	-	-	-
栃木県	39	2.44	11	0.69	15	0.94	38	2.38	34	4.86	2	0.29	-	-
群馬県	61	2.44	6	0.24	5	0.20	21	0.84	26	2.60	3	0.30	1	0.10
埼玉県	54	1.06	12	0.24	4	0.08	29	0.57	21	2.33	3	0.33	-	-
千葉県	55	1.49	17	0.46	13	0.35	31	0.84	23	2.56	50	5.56	2	0.22
東京都	104	2.54	29	0.71	36	0.88	74	1.80	69	2.88	18	0.75	1	0.04
神奈川県	77	1.28	21	0.35	4	0.07	63	1.05	9	0.82	22	2.00	-	-
新潟県	19	0.95	5	0.25	5	0.25	24	1.20	41	3.15	6	0.46	-	-
富山県	15	2.14	1	0.14	-	-	11	1.57	31	6.20	25	5.00	-	-
石川県	7	0.70	4	0.40	4	0.40	5	0.50	15	3.00	4	0.80	-	-
福井県	9	1.80	2	0.40	1	0.20	4	0.80	14	1.75	9	1.13	1	0.13
山梨県	2	0.33	-	-	1	0.17	4	0.67	22	2.20	8	0.80	-	-
長野県	12	0.75	-	-	4	0.25	12	0.75	21	1.91	3	0.27	-	-
岐阜県	11	0.73	5	0.33	3	0.20	12	0.80	3	0.60	-	-	-	-
静岡県	20	0.67	-	-	3	0.10	10	0.33	46	4.60	15	1.50	-	-
愛知県	95	1.86	26	0.51	27	0.53	76	1.49	32	2.46	3	0.23	-	-
三重県	11	0.73	2	0.13	2	0.13	5	0.33	25	2.78	1	0.11	-	-
滋賀県	2	0.22	1	0.11	-	-	6	0.67	21	3.00	-	-	-	-
京都府	14	0.61	3	0.13	3	0.13	4	0.17	4	0.57	-	-	-	-
大阪府	122	2.03	59	0.98	36	0.60	122	2.03	23	1.64	3	0.21	1	0.07
兵庫県	57	1.21	14	0.30	7	0.15	37	0.79	33	2.36	5	0.36	-	-
奈良県	9	1.00	3	0.33	1	0.11	11	1.22	23	3.83	9	1.50	-	-
和歌山県	5	0.63	2	0.25	2	0.25	5	0.63	21	1.91	2	0.18	1	0.09
鳥取県	6	1.20	1	0.20	-	-	9	1.80	12	2.40	-	-	-	-
島根県	4	0.67	-	-	2	0.33	5	0.83	31	3.88	9	1.13	-	-
岡山県	18	1.06	3	0.18	4	0.24	25	1.47	8	1.60	3	0.60	-	-
広島県	13	0.57	5	0.22	3	0.13	10	0.43	84	4.42	34	1.79	1	0.05
山口県	10	0.83	2	0.17	2	0.17	10	0.83	64	8.00	21	2.63	2	0.25
徳島県	10	1.67	4	0.67	6	1.00	-	-	7	1.00	-	-	-	-
香川県	9	1.29	2	0.29	3	0.43	9	1.29	19	4.75	2	0.50	-	-
愛媛県	3	0.27	2	0.18	3	0.27	11	1.00	7	1.17	1	0.17	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	-	-	28	3.50	29	3.63	-	-
福岡県	87	2.35	20	0.54	7	0.19	89	2.41	21	1.40	12	0.80	-	-
佐賀県	10	1.43	-	-	1	0.14	7	1.00	20	3.33	7	1.17	-	-
長崎県	3	0.30	3	0.30	-	-	10	1.00	5	0.42	-	-	1	0.08
熊本県	19	1.36	9	0.64	-	-	14	1.00	36	2.40	5	0.33	-	-
大分県	9	0.90	5	0.50	1	0.10	13	1.30	30	3.00	16	1.60	1	0.10
宮崎県	17	1.55	3	0.27	1	0.09	17	1.55	13	1.86	8	1.14	1	0.14
鹿児島県	38	2.38	8	0.50	3	0.19	21	1.31	5	0.45	1	0.09	-	-
沖縄県	4	0.33	1	0.08	-	-	10	0.83	13	1.86	2	0.29	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成16年2月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1606	1.75	449	0.49	217	0.24	259	0.28	690	1.48	269	0.58	9	0.02
北海道	175	4.17	39	0.93	14	0.33	34	0.81	11	0.46	3	0.13	-	-
青森県	28	2.15	4	0.31	1	0.08	4	0.31	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	29	2.23	4	0.31	3	0.23	2	0.15	32	1.60	6	0.30	4	0.20
宮城県	42	2.33	6	0.33	-	-	4	0.22	12	1.00	9	0.75	-	-
秋田県	18	1.29	-	-	3	0.21	4	0.29	10	1.43	1	0.14	-	-
山形県	13	1.30	3	0.30	2	0.20	1	0.10	13	1.30	2	0.20	-	-
福島県	19	1.19	11	0.69	6	0.38	1	0.06	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	51	2.43	7	0.33	5	0.24	-	-	8	0.89	-	-	-	-
栃木県	14	0.88	2	0.13	1	0.06	1	0.06	21	3.00	3	0.43	-	-
群馬県	46	1.84	17	0.68	9	0.36	2	0.08	6	0.60	-	-	-	-
埼玉県	95	1.86	23	0.45	16	0.31	7	0.14	11	1.22	3	0.33	-	-
千葉県	58	1.57	13	0.35	5	0.14	7	0.19	12	1.33	39	4.33	-	-
東京都	116	2.83	42	1.02	20	0.49	23	0.56	45	1.88	16	0.67	1	0.04
神奈川県	66	1.10	12	0.20	7	0.12	8	0.13	7	0.64	19	1.73	-	-
新潟県	21	1.05	6	0.30	2	0.10	2	0.10	16	1.23	4	0.31	-	-
富山県	7	1.00	3	0.43	2	0.29	1	0.14	17	3.40	16	3.20	1	0.20
石川県	4	0.40	4	0.40	1	0.10	1	0.10	4	0.80	2	0.40	-	-
福井県	4	0.80	-	-	-	-	-	-	6	0.75	3	0.38	-	-
山梨県	9	1.50	-	-	-	-	1	0.17	11	1.10	3	0.30	1	0.10
長野県	28	1.75	7	0.44	8	0.50	5	0.31	12	1.09	-	-	-	-
岐阜県	11	0.73	-	-	2	0.13	4	0.27	8	1.60	-	-	-	-
静岡県	48	1.60	9	0.30	4	0.13	9	0.30	21	2.10	16	1.60	-	-
愛知県	64	1.25	9	0.18	9	0.18	9	0.18	25	1.92	-	-	-	-
三重県	5	0.33	3	0.20	1	0.07	1	0.07	17	1.89	-	-	-	-
滋賀県	9	1.00	-	-	2	0.22	1	0.11	16	2.29	-	-	-	-
京都府	37	1.61	15	0.65	-	-	11	0.48	4	0.57	-	-	-	-
大阪府	164	2.73	77	1.28	33	0.55	28	0.47	18	1.29	3	0.21	-	-
兵庫県	39	0.83	12	0.26	7	0.15	3	0.06	8	0.57	2	0.14	-	-
奈良県	6	0.67	-	-	2	0.22	3	0.33	15	2.50	2	0.33	-	-
和歌山県	5	0.63	3	0.38	-	-	-	-	26	2.36	3	0.27	-	-
鳥取県	13	2.60	-	-	1	0.20	-	-	6	1.20	1	0.20	-	-
島根県	2	0.33	-	-	-	-	-	-	22	2.75	16	2.00	-	-
岡山県	44	2.59	8	0.47	6	0.35	13	0.76	9	1.80	3	0.60	-	-
広島県	42	1.83	8	0.35	8	0.35	7	0.30	46	2.42	28	1.47	2	0.11
山口県	17	1.42	3	0.25	3	0.25	5	0.42	45	5.63	11	1.38	-	-
徳島県	4	0.67	1	0.17	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-
香川県	26	3.71	2	0.29	-	-	2	0.29	24	6.00	4	1.00	-	-
愛媛県	5	0.45	-	-	2	0.18	1	0.09	5	0.83	2	0.33	-	-
高知県	7	1.17	1	0.17	-	-	1	0.17	19	2.38	24	3.00	-	-
福岡県	83	2.24	33	0.89	12	0.32	17	0.46	18	1.20	6	0.40	-	-
佐賀県	2	0.29	2	0.29	2	0.29	1	0.14	13	2.17	6	1.00	-	-
長崎県	13	1.30	13	1.30	2	0.20	5	0.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	38	2.71	19	1.36	5	0.36	9	0.64	20	1.33	1	0.07	-	-
大分県	5	0.50	11	1.10	1	0.10	4	0.40	12	1.20	5	0.50	-	-
宮崎県	14	1.27	6	0.55	2	0.18	5	0.45	11	1.57	4	0.57	-	-
鹿児島県	19	1.19	10	0.63	4	0.25	11	0.69	8	0.73	1	0.09	-	-
沖縄県	41	3.42	1	0.08	4	0.33	1	0.08	14	2.00	2	0.29	-	-

注)3月23日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成16年2月

	結核
	報告数
総数	2178
北海道	66
青森県	18
岩手県	15
宮城県	34
秋田県	15
山形県	9
福島県	27
茨城県	42
栃木県	34
群馬県	25
埼玉県	101
千葉県	95
東京都	300
神奈川県	137
新潟県	38
富山県	20
石川県	9
福井県	6
山梨県	6
長野県	19
岐阜県	44
静岡県	53
愛知県	137
三重県	17
滋賀県	21
京都府	48
大阪府	253
兵庫県	104
奈良県	22
和歌山県	15
鳥取県	2
島根県	10
岡山県	31
広島県	30
山口県	19
徳島県	15
香川県	26
愛媛県	17
高知県	14
福岡県	117
佐賀県	19
長崎県	32
熊本県	23
大分県	17
宮崎県	19
鹿児島県	36
沖縄県	21



11週 of データ

注)表中の報告数は3月18日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年11週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	8	67	1	2	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	20	1	1	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年11週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	9	72	4	100	-	9	-	-	-	6	-	-	2	49
北海道	-	-	-	-	-	2	-	4	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	1	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	15	3	26	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	7	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
兵庫県	-	-	-	-	1	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年11週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	1	3	33	-	12	13	175	-	1	-	9	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	5	63	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	22	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	6	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年11週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	7	-	2	-	-	1	45	-	2	-	-	-	-	4	90	-	7
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
茨城県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	2	-	1	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	12	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛知県	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年11週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	-	-	-	19
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年11週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	4	-	-	1	39	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年11週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ポツリヌス症」「ポツリヌス症」定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年11週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	16941	3.60	797	0.26	7161	2.35	31626	10.39	5926	1.95	148	0.05	1050	0.35	1916	0.63	26	0.01
北海道	1537	6.80	38	0.27	420	2.94	472	3.30	208	1.45	13	0.09	37	0.26	78	0.55	-	-
青森県	308	4.81	11	0.26	72	1.71	223	5.31	56	1.33	-	-	11	0.26	19	0.45	-	-
岩手県	241	3.89	-	-	102	2.68	158	4.16	55	1.45	1	0.03	9	0.24	30	0.79	1	0.03
宮城県	128	1.41	10	0.17	314	5.32	555	9.41	132	2.24	7	0.12	33	0.56	63	1.07	1	0.02
秋田県	311	5.65	8	0.23	166	4.74	186	5.31	44	1.26	11	0.31	3	0.09	16	0.46	-	-
山形県	175	3.65	25	0.83	285	9.50	348	11.60	58	1.93	-	-	30	1.00	30	1.00	-	-
福島県	282	3.53	11	0.23	105	2.19	500	10.42	68	1.42	4	0.08	9	0.19	31	0.65	-	-
茨城県	190	1.67	7	0.09	306	4.14	439	5.93	111	1.50	1	0.01	4	0.05	39	0.53	-	-
栃木県	120	1.71	4	0.09	87	1.89	467	10.15	45	0.98	3	0.07	13	0.28	25	0.54	-	-
群馬県	196	1.96	2	0.03	128	2.06	487	7.85	63	1.02	3	0.05	27	0.44	43	0.69	2	0.03
埼玉県	273	1.07	28	0.18	604	3.82	2149	13.60	295	1.87	-	-	68	0.43	115	0.73	4	0.03
千葉県	200	0.99	36	0.28	449	3.45	1398	10.75	368	2.83	2	0.02	84	0.65	110	0.85	-	-
東京都	138	0.78	16	0.11	209	1.47	1331	9.37	136	0.96	4	0.03	59	0.42	70	0.49	1	0.01
神奈川県	460	1.37	70	0.34	432	2.10	2210	10.73	411	2.00	8	0.04	117	0.57	159	0.77	1	0.00
新潟県	471	4.76	38	0.63	520	8.67	516	8.60	152	2.53	-	-	71	1.18	51	0.85	-	-
富山県	227	4.73	31	1.07	231	7.97	377	13.00	88	3.03	-	-	11	0.38	20	0.69	-	-
石川県	250	5.21	14	0.48	74	2.55	350	12.07	63	2.17	12	0.41	15	0.52	8	0.28	-	-
福井県	385	12.03	5	0.23	117	5.32	270	12.27	32	1.45	4	0.18	23	1.05	16	0.73	-	-
山梨県	67	1.63	-	-	34	1.36	114	4.56	49	1.96	-	-	4	0.16	5	0.20	-	-
長野県	276	3.17	3	0.05	139	2.53	618	11.24	81	1.47	-	-	20	0.36	35	0.64	-	-
岐阜県	239	2.85	27	0.51	49	0.92	300	5.66	93	1.75	3	0.06	15	0.28	21	0.40	-	-
静岡県	405	2.96	19	0.22	131	1.52	1256	14.60	225	2.62	-	-	36	0.42	50	0.58	2	0.02
愛知県	601	3.08	50	0.27	275	1.51	1445	7.94	297	1.63	9	0.05	61	0.34	92	0.51	2	0.01
三重県	132	1.81	18	0.40	105	2.33	731	16.24	70	1.56	2	0.04	10	0.22	29	0.64	-	-
滋賀県	196	3.84	2	0.06	66	2.00	347	10.52	45	1.36	3	0.09	16	0.48	13	0.39	-	-
京都府	242	1.92	3	0.04	81	1.07	777	10.22	101	1.33	-	-	19	0.25	33	0.43	-	-
大阪府	467	1.58	35	0.18	257	1.32	1573	8.07	298	1.53	3	0.02	34	0.17	89	0.46	5	0.03
兵庫県	462	2.33	39	0.30	160	1.25	1418	11.08	272	2.13	10	0.08	34	0.27	88	0.69	2	0.02
奈良県	114	2.07	4	0.11	34	0.97	552	15.77	53	1.51	-	-	4	0.11	16	0.46	-	-
和歌山県	218	4.36	12	0.39	17	0.55	413	13.32	57	1.84	-	-	9	0.29	13	0.42	-	-
鳥取県	99	3.41	11	0.58	101	5.32	247	13.00	58	3.05	-	-	7	0.37	11	0.58	-	-
島根県	135	3.55	8	0.35	21	0.91	156	6.78	29	1.26	-	-	-	-	17	0.74	-	-
岡山県	246	2.93	10	0.19	60	1.11	651	12.06	126	2.33	3	0.06	10	0.19	21	0.39	-	-
広島県	384	3.20	33	0.44	97	1.29	949	12.65	119	1.59	4	0.05	22	0.29	50	0.67	-	-
山口県	686	9.80	35	0.71	97	1.98	758	15.47	151	3.08	1	0.02	3	0.06	41	0.84	-	-
徳島県	103	2.71	14	0.61	28	1.22	309	13.43	47	2.04	2	0.09	5	0.22	11	0.48	1	0.04
香川県	221	4.33	4	0.13	24	0.75	309	9.66	84	2.63	-	-	11	0.34	8	0.25	-	-
愛媛県	345	5.39	24	0.62	76	1.95	521	13.36	85	2.18	3	0.08	6	0.15	48	1.23	-	-
高知県	269	5.49	2	0.06	50	1.61	298	9.61	65	2.10	1	0.03	3	0.10	11	0.35	-	-
福岡県	1258	6.35	7	0.06	333	2.78	1999	16.66	308	2.57	4	0.03	26	0.22	112	0.93	2	0.02
佐賀県	188	4.82	8	0.35	44	1.91	424	18.43	74	3.22	10	0.43	-	-	21	0.91	-	-
長崎県	642	9.17	9	0.20	26	0.59	398	9.05	90	2.05	2	0.05	8	0.18	18	0.41	-	-
熊本県	451	5.57	10	0.20	67	1.37	623	12.71	136	2.78	3	0.06	10	0.20	31	0.63	-	-
大分県	855	14.74	7	0.19	35	0.97	853	23.69	67	1.86	1	0.03	34	0.94	37	1.03	1	0.03
宮崎県	703	11.72	27	0.73	54	1.46	516	13.95	111	3.00	3	0.08	9	0.24	31	0.84	-	-
鹿児島県	576	6.00	21	0.36	62	1.07	519	8.95	221	3.81	1	0.02	2	0.03	32	0.55	1	0.02
沖縄県	469	8.09	1	0.03	17	0.50	116	3.41	129	3.79	7	0.21	8	0.24	9	0.26	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年11週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	117	0.04	95	0.03	44	0.01	1870	0.61	22	0.03	562	0.88	4	0.01	7	0.01	77	0.16
北海道	-	-	2	0.01	4	0.03	75	0.52	-	-	19	0.66	-	-	1	0.04	1	0.04
青森県	1	0.02	2	0.05	-	-	24	0.57	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	-	-	2	0.05	30	0.79	-	-	15	1.25	-	-	-	-	7	0.35
宮城県	3	0.05	1	0.02	1	0.02	30	0.51	-	-	4	0.36	-	-	-	-	9	0.75
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	2	0.06	-	-	9	1.29	-	-	-	-	1	0.14
山形県	-	-	-	-	-	-	19	0.63	-	-	1	0.13	-	-	-	-	3	0.30
福島県	-	-	-	-	4	0.08	19	0.40	1	0.08	20	1.67	-	-	-	-	4	0.57
茨城県	1	0.01	-	-	3	0.04	17	0.23	-	-	46	2.88	-	-	-	-	2	0.18
栃木県	5	0.11	2	0.04	6	0.13	5	0.11	-	-	14	1.17	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	16	0.26	3	0.05	3	0.05	67	1.08	-	-	39	2.79	-	-	-	-	-	-
埼玉県	12	0.08	6	0.04	1	0.01	130	0.82	2	0.05	22	0.59	1	0.11	-	-	-	-
千葉県	7	0.05	4	0.03	1	0.01	92	0.71	3	0.09	39	1.18	-	-	-	-	1	0.08
東京都	6	0.04	5	0.04	-	-	27	0.19	1	0.07	21	1.50	1	0.04	-	-	4	0.16
神奈川県	6	0.03	12	0.06	1	0.00	103	0.50	1	0.02	33	0.79	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	3	0.05	63	1.05	-	-	5	0.56	-	-	-	-	3	0.25
富山県	-	-	-	-	-	-	11	0.38	-	-	10	1.43	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	-	-	-	-	2	0.07	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.20
福井県	2	0.09	1	0.05	-	-	10	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	3	0.12	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	-	-	-	-	4	0.07	-	-	6	0.55	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	4	0.08	1	0.02	49	0.92	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	-	-	87	1.01	1	0.05	10	0.50	-	-	1	0.10	1	0.10
愛知県	6	0.03	6	0.03	1	0.01	156	0.86	-	-	25	0.71	1	0.08	-	-	1	0.08
三重県	-	-	1	0.02	-	-	12	0.27	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	-	-	12	0.36	-	-	5	0.71	-	-	-	-	3	0.43
京都府	1	0.01	2	0.03	2	0.03	31	0.41	-	-	9	0.47	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	6	0.03	2	0.01	129	0.66	4	0.08	13	0.27	-	-	-	-	9	0.60
兵庫県	5	0.04	-	-	4	0.03	122	0.95	-	-	16	0.46	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	18	0.51	-	-	5	0.56	-	-	-	-	3	0.50
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	29	0.94	-	-	2	0.50	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	6	0.32	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	0.04	-	-	15	0.65	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	3	0.06	-	-	24	0.44	1	0.08	14	1.17	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	7	0.09	-	-	40	0.53	-	-	19	0.95	-	-	1	0.05	3	0.14
山口県	-	-	1	0.02	-	-	118	2.41	-	-	9	1.00	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	4	0.17	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.06	-	-	15	0.47	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	9	0.23	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	2	0.06	-	-	32	1.03	-	-	3	1.00	-	-	1	0.11	2	0.22
福岡県	9	0.08	4	0.03	3	0.03	114	0.95	1	0.04	13	0.50	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	-	-	25	1.09	-	-	7	1.75	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	14	0.32	4	0.50	12	1.50	-	-	-	-	3	0.25
熊本県	-	-	9	0.18	2	0.04	42	0.86	1	0.11	26	2.89	-	-	2	0.13	1	0.07
大分県	6	0.17	3	0.08	-	-	6	0.17	-	-	2	0.40	-	-	-	-	2	0.18
宮崎県	1	0.03	-	-	-	-	4	0.11	1	0.25	11	2.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	25	0.43	1	0.02	-	-	17	0.29	-	-	13	1.86	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	1	0.03	-	-	-	-	7	0.21	-	-	11	1.10	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年11週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	7	0.01	4	0.01	98
北海道	-	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	1	0.08	-	-	...
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	0.29	6
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	1	0.11	2
千葉県	2	0.15	-	-	-
東京都	-	-	-	-	9
神奈川県	-	-	-	-	7
新潟県	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	...
石川県	-	-	-	-	...
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	...
長野県	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	7
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	2
兵庫県	-	-	1	0.08	1
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	...
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	10
福岡県	1	0.07	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	...
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	1	0.07	-	-	2
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第11号 平成16年3月26日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。